

石川県農業の概要

令和8年8月
農林水産省北陸農政局
石川県拠点

目 次

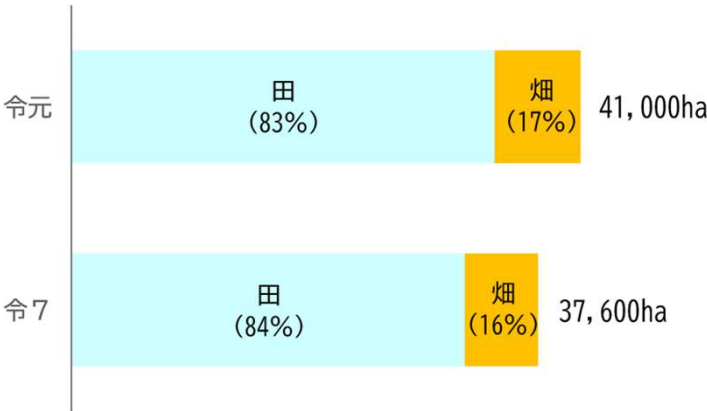
・概要	
耕地面積・農業産出額	1
農業経営体（農林業センサス）	2
経営耕地面積（農林業センサス）	3
・能登半島地震及び豪雨災害による水稲への影響	
（１）水稲作付面積・10a当たり収量・水稲収穫量（石川県（加賀・能登））	4
（２）水稲作付面積・水稲収穫量（奥能登４市町）	5
・石川県の主な農畜産物の産地（水稲以外）	6
・石川県の地理的表示(GI)保護制度 登録産品	7
・石川県の世界農業遺産（能登の里山里海（石川県能登地域））	8
（参考資料）	
・農産物販売金額規模別経営体数(農林業センサス)	9
・農業労働力(農林業センサス)	10
・農業産出額	11
・耕地面積	12
・水稲の作付面積・収穫量	13
・六条大麦の作付面積・収穫量	14
・大豆の作付面積・収穫量	15
・野菜の作付面積・収穫量（だいこん・ブロッコリー・ねぎ・かぼちゃ）	16
・野菜の作付面積・収穫量（きゅうり・トマト・すいか・メロン）	17
・果樹の結果樹面積・収穫量（ぶどう・日本なし・かき・くり）	18
・畜産の飼養戸数・飼養頭羽数（乳用牛・肉用牛・豚・採卵鶏）	19

概要

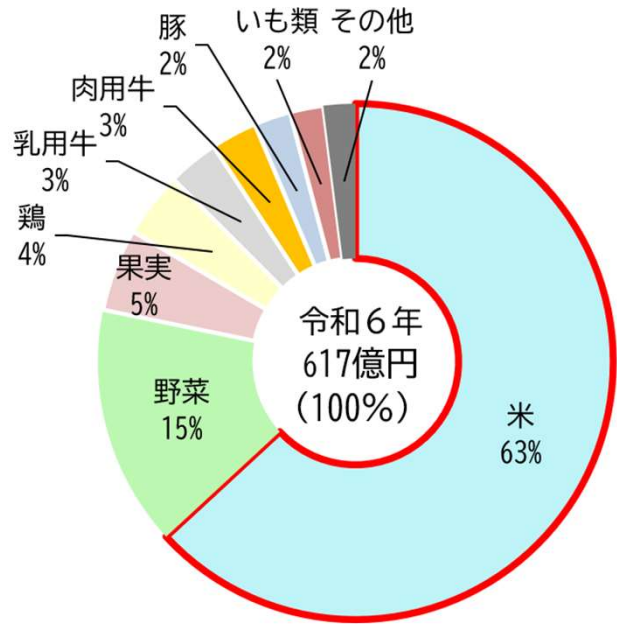
耕地面積・農業産出額

- 石川県は南西から北東に向かって細長い形状であり、北は能登半島となって日本海に突出しており、金沢市をはじめ11市8町の計19市町からなっている。
- 耕地面積の約8割を水田が占めている。
- 農業産出額の6割以上を米が占め、8割の市町（15市町）で米が1位となっている。

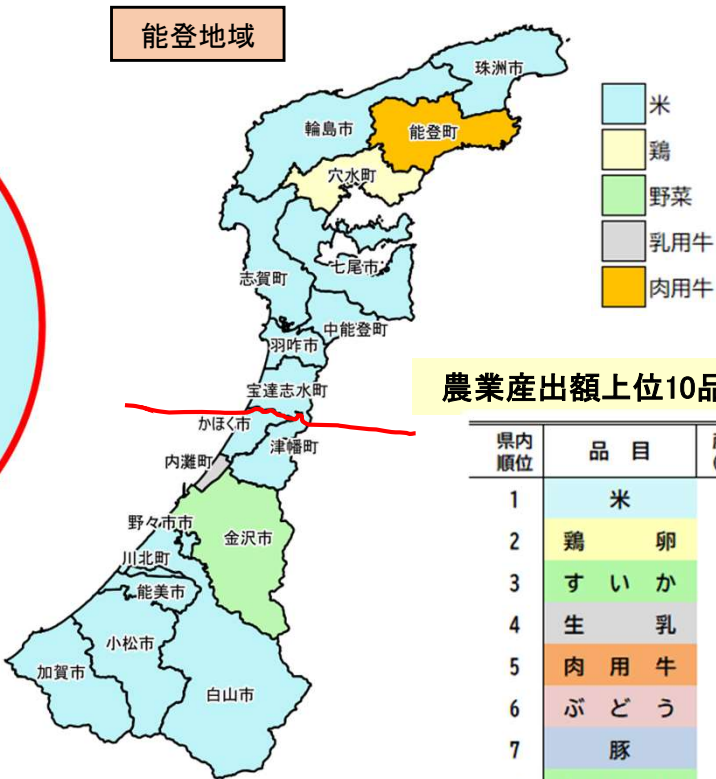
耕地面積



農業産出額の部門別割合



市町別農業産出額1位部門(令和6年)



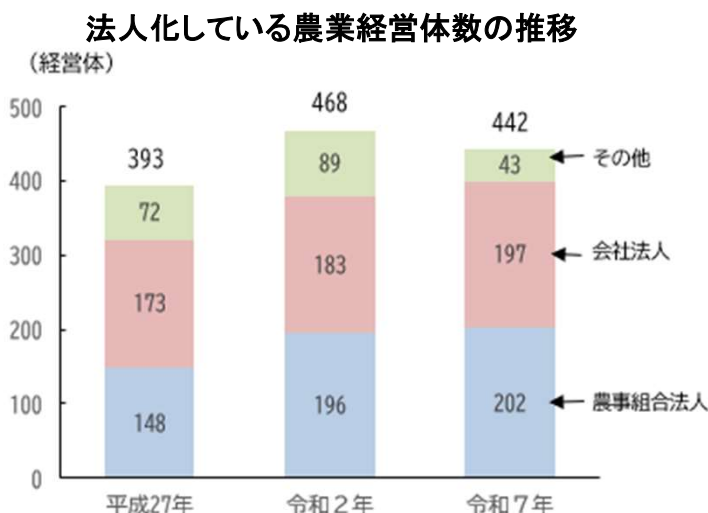
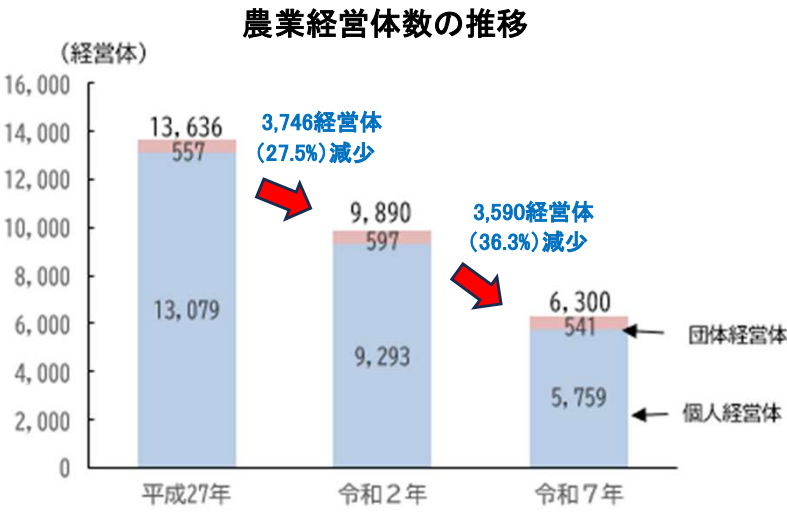
農業産出額上位10品目(令和6年)

県内順位	品目	産出額(億円)	全国順位
1	米	390	22
2	鶏卵	25	36
3	すいか	23	10
4	生乳	20	40
5	肉用牛	18	38
6	ぶどう	15	20
7	豚	14	39
8	トマト	10	43
9	かんしょ	9	11
10	日本なし	8	26

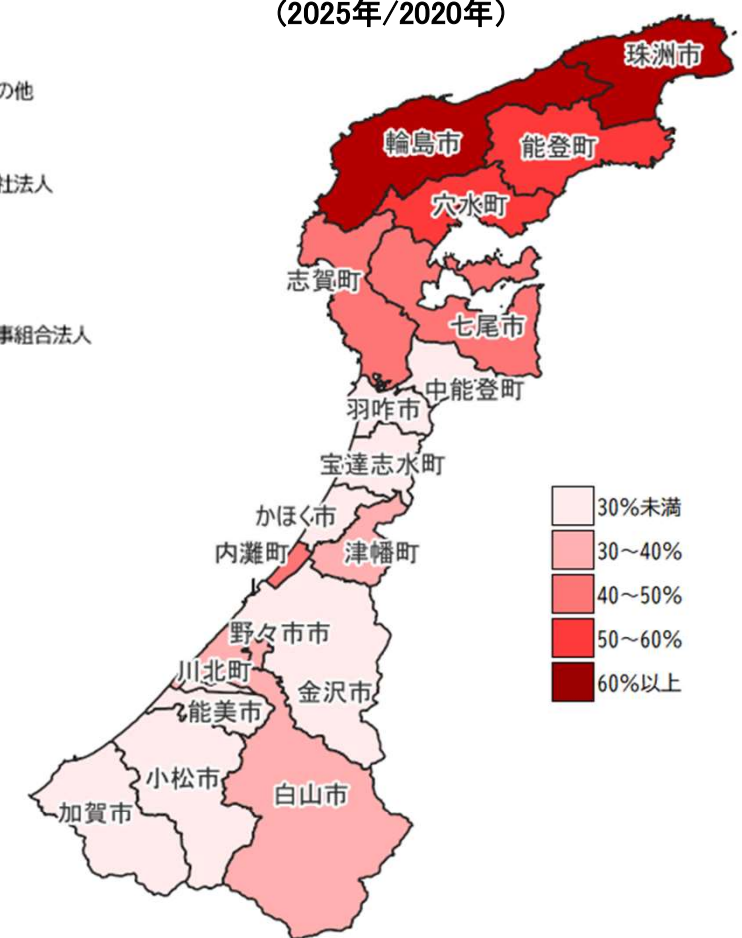
出典：農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」「生産農業所得統計」「市町村別農業産出額（推計）」
注：1 表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。
2 市町村別農業産出額（推計）は都道府県別の農業産出額を農林業センサスの作付面積や飼養頭羽数等を用いて市町村別に按分した加工統計であるため、市町村毎の価格や単収の差は反映されていないことに留意されたい。
3 順位付けは原数値（100万円）により判定したものである。
4 全国順位は秘匿措置を講じた都道府県を除いた順位である。

農業経営体（農林業センサス）

農業経営体数（令和7年2月1日現在）は6,300経営体となり、5年前（令和2年2月1日現在）に比べて3,590経営体（36.3%）減少した。このうち、個人経営体は5,759経営体、団体経営体は541経営体となり、5年前に比べてそれぞれ3,534経営体（38.0%）、56経営体（9.4%）減少した。
また、市町別では、珠洲市及び輪島市において、5年前に比べて農業経営体数が60%以上減少している。



市町別農業経営体数の減少率
(2025年/2020年)



市町別組織形態別農業経営体数(2025年センサス)

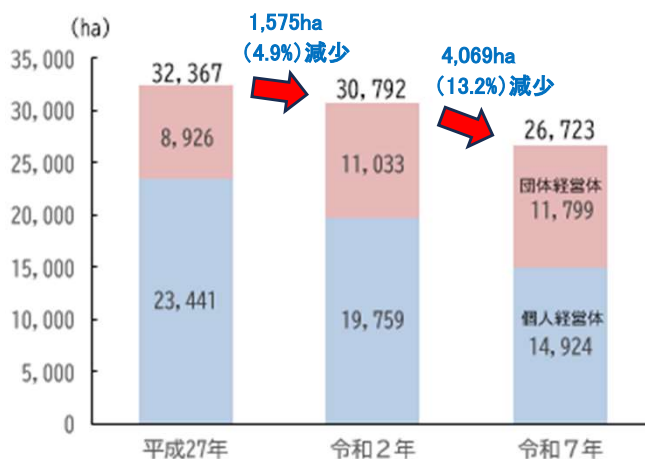
加賀地域					能登地域				
市町	農業経営体	組織形態別			市町	農業経営体	組織形態別		
		個人経営体	団体経営体	法人経営体			個人経営体	団体経営体	法人経営体
かほく市	212	194	18	17	珠洲市	163	154	9	5
内灘町	29	24	5	5	能登町	246	232	14	14
津幡町	236	201	35	28	輪島市	177	168	9	8
金沢市	1,035	982	53	43	穴水町	108	97	11	7
野々市市	65	62	3	3	七尾市	604	551	53	43
白山市	514	430	84	79	中能登町	242	219	23	19
能美市	273	236	37	27	志賀町	430	396	34	30
川北町	84	72	12	11	羽咋市	366	342	24	22
小松市	585	530	55	33	宝達志水町	256	238	18	15
加賀市	675	631	44	33					

出典：農林水産省統計部「農林業センサス」
注：表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

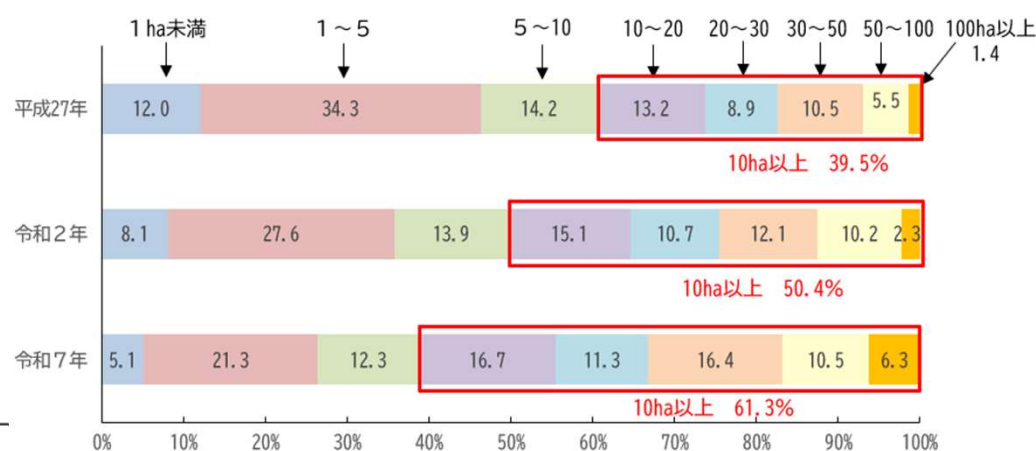
経営耕地面積（農林業センサス）

経営耕地面積は26,723haとなり、5年前に比べて4,069ha（13.2%）減少した。このうち、個人経営体は4,835ha（24.5%）減少、団体経営体は766ha（6.9%）増加した。
また、経営耕地面積を規模別にみると、10ha以上の農業経営体の経営耕地面積は全体の61.3%を占め、5年前に比べて10.9ポイント上昇した。

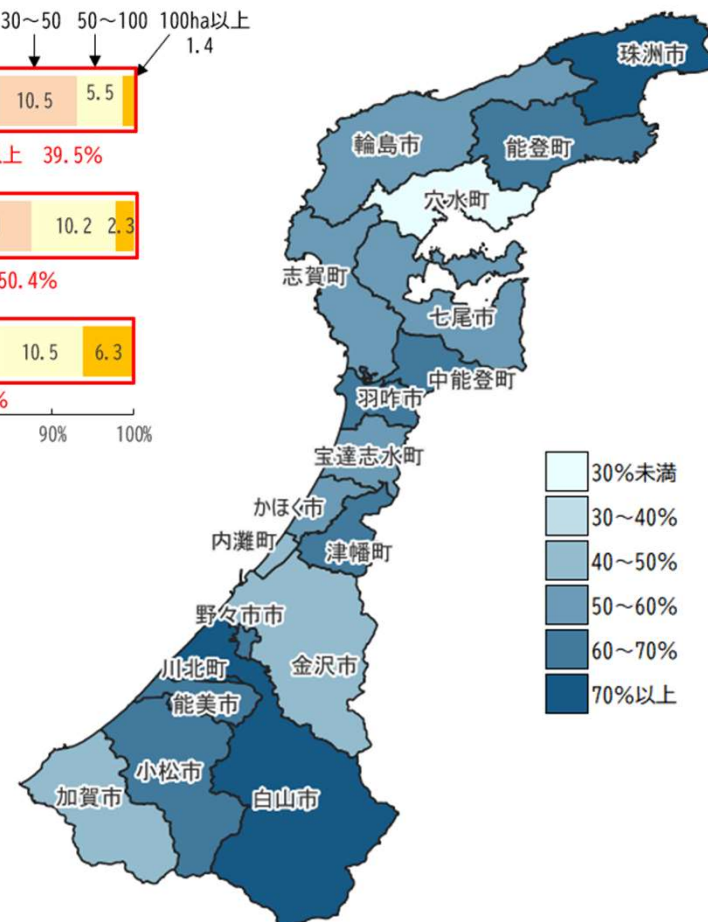
経営耕地面積の推移（農業経営体）



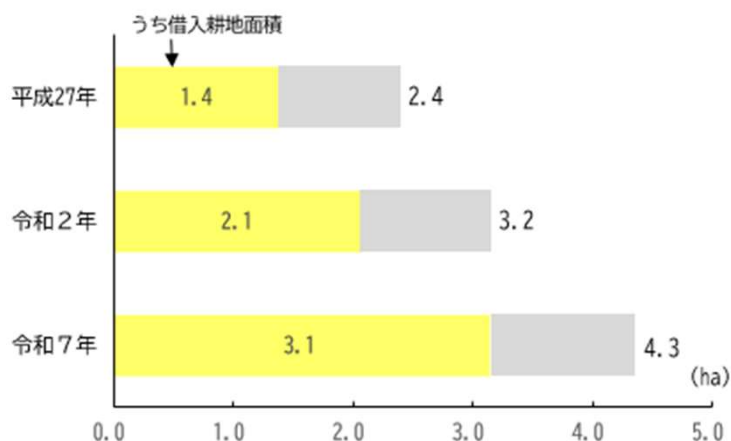
経営耕地面積規模別の経営耕地面積割合の推移（農業経営体）



市町別 10ha以上の農業経営体の経営耕地面積割合(2025年)



1農業経営体当たりの経営耕地面積の推移（農業経営体）



出典：農林水産省統計部「農林業センサス」
注：表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

能登半島地震及び豪雨災害による水稲への影響

（１）水稲作付面積・10a当たり収量・水稲収穫量（石川県（加賀・能登））

【能登半島地震・豪雨災害の概況】

令和6年1月1日午後4時10分、石川県能登地方を震源としたマグニチュード7.6（輪島市及び志賀町で震度7を観測）の地震が発生。
令和6年9月21日～22日にかけて輪島市、珠洲市、能登町で大雨特別警報が発表され、期間降水量（9月20日～22日）が輪島市で501.0ミリ、珠洲市で394.0ミリと平年の9月の降水量の2倍を上回る記録的な大雨。
この地震及び豪雨の影響により奥能登地域を中心に農地等に甚大かつ広範囲に被害が発生。

【震災前後の状況：R6年産とR5年産】

石川県におけるR6年産の水稲作付面積（子実用）は22,300ha、収穫量（子実用）は116,200tで、震災前の5年産より1,100ha（4.7%）、5,000t（4.1%）それぞれ減少。
能登地域では作付面積（子実用）は900ha（9.4%）、収穫量（子実用）は6,100t（12.9%）それぞれ減少。

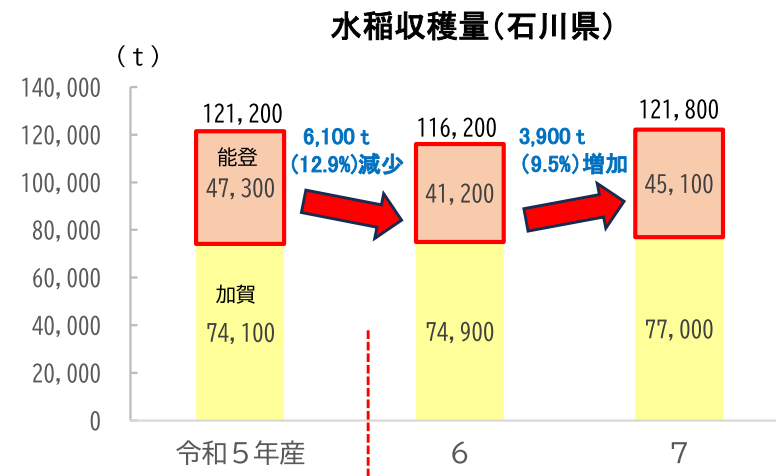
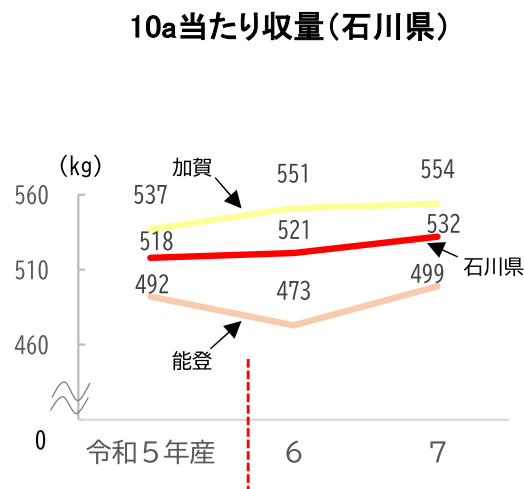
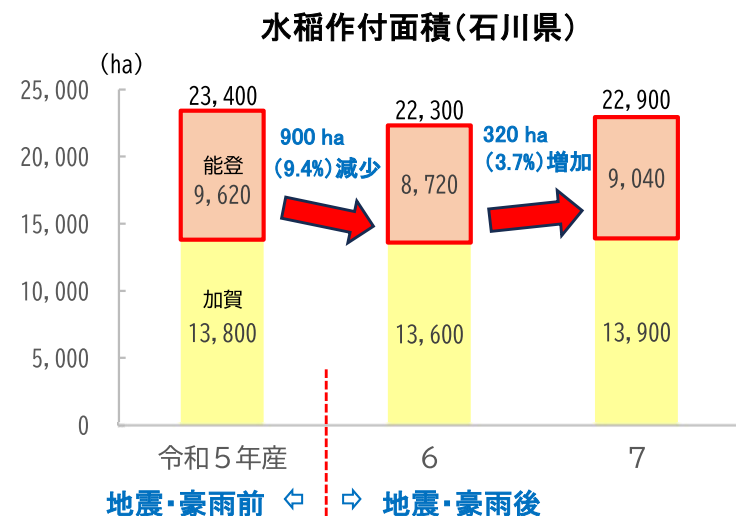
能登 農地や機械の被害
避難により営農休止
9月の豪雨被害など

【その後の状況：R7年産】

石川県におけるR7年産の水稲作付面積（子実用）は22,900ha、収穫量（子実用）は121,800tで、6年産に比べて600ha（2.7%）、5,600t（4.8%）それぞれ増加。
能登地域では作付面積（子実用）は320ha（3.7%）、収穫量（子実用）は3,900t（9.5%）それぞれ増加。

能登 農地の復旧
機械の再取得
営農再開など

今後も農地復旧や整備を継続
『能登の創造的復興』



出典：農林水産省統計部「作物統計」「農林水産関係市町村別統計」
気象庁「災害時地震・津波報告（令和6年能登半島地震）」
東京管区気象台「災害時気象報告（低気圧と前線による令和6年9月20日から9月22日にかけての大雨等）」

- 注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積を含めた水稲全体の作付面積から青刈り面積（飼料用米・WCS用稲等を含む。）を除いた面積である。
2 水稲作付面積は、四捨五入しており、県計値と能登地域及び加賀地域の合計値とは一致しない。
3 水稲収穫量（子実用）は、県、能登地域、加賀地域のそれぞれの10a当たり収量（ふるい目幅1.7mmで選別）にそれぞれの水稲作付面積を乗じたものであり、県計値と能登地域及び加賀地域の合計値とは一致しない。
4 令和6年産の水稲作付面積には豪雨の影響は含まれていない。

(2) 水稻作付面積・水稻収穫量（奥能登4市町）

【震災前後の状況：R6年産とR5年産】

奥能登地域におけるR6年産の水稻作付面積（子実用）は1,784ha、収穫量（子実用）は7,352tで、震災前の5年産より908ha（33.7%）、5,318t（42.0%）それぞれ減少。

奥能登 令和6年営農面積
2,100ha（水稻1,800ha）
その後、豪雨により400haの農地で土砂・流木等が堆積

【その後の状況：R7年産】

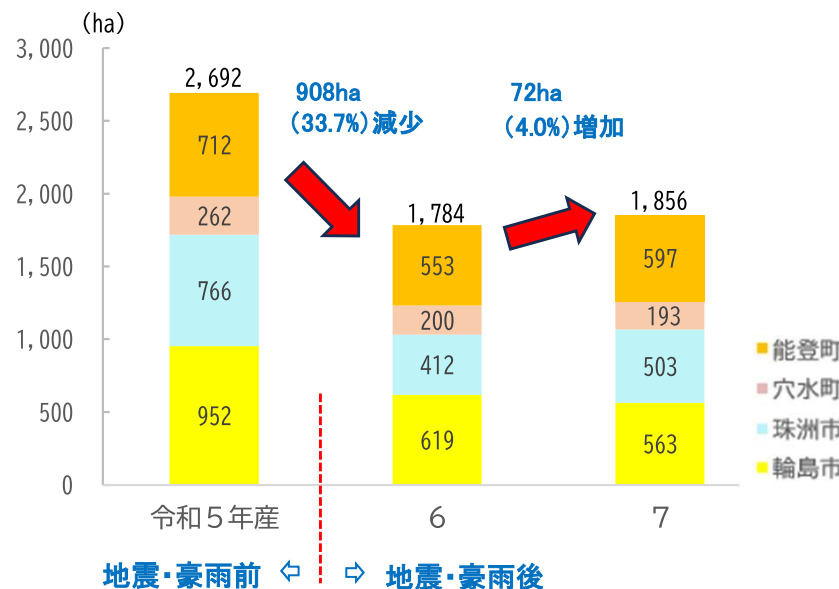
奥能登地域におけるR7年産の水稻作付面積（子実用）は1,856ha、収穫量（子実用）は8,694tで、6年産に比べて72ha（4.0%）、1,342t（18.3%）それぞれ増加。

奥能登 令和7年営農面積
2,000ha（水稻1,900ha）まで回復

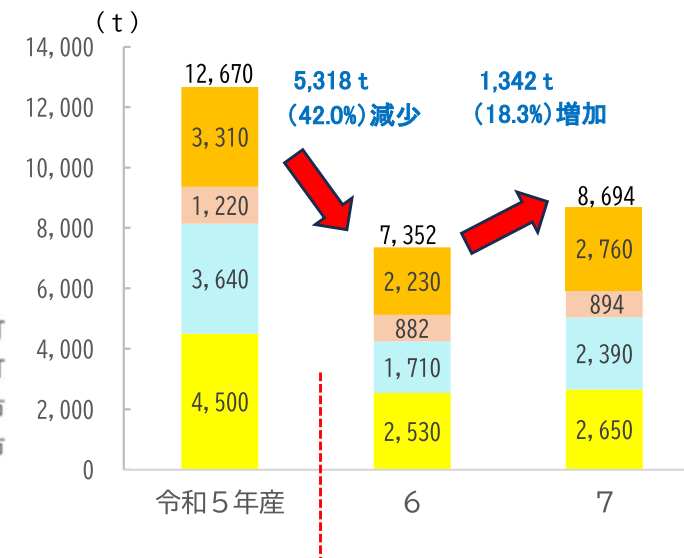
奥能登4市町
（輪島市・珠洲市・穴水町・能登町）



水稻作付面積（奥能登4市町）



水稻収穫量（奥能登4市町）



出典：農林水産省統計部「作物統計」「農林水産関係市町村別統計」

気象庁「令和6年能登半島地震等の関連情報（2024年01月01日16時10分推計震度分布図）」

石川県「知事記者会見資料（令和6年10月9日及び令和7年11月14日）」

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から青刈り面積（飼料用米・WCS用稲等を含む。）を除いた面積である。

2 令和6年産の水稻作付面積には豪雨の影響は含まれていない。

石川県の主な農畜産物の産地（水稻以外）

鶏卵
生産量：12,726 t（令和7年）

すいか
収穫量：12,700 t（令和6年）

生乳
生産量：15,316 t（令和7年）

肉用牛
飼養頭数：3,100頭（令和8年）概数

ぶどう
収穫量：692 t（令和7年）概数

豚
飼養頭数：16,000頭（令和8年）概数

トマト
収穫量：3,650 t（令和7年）概数

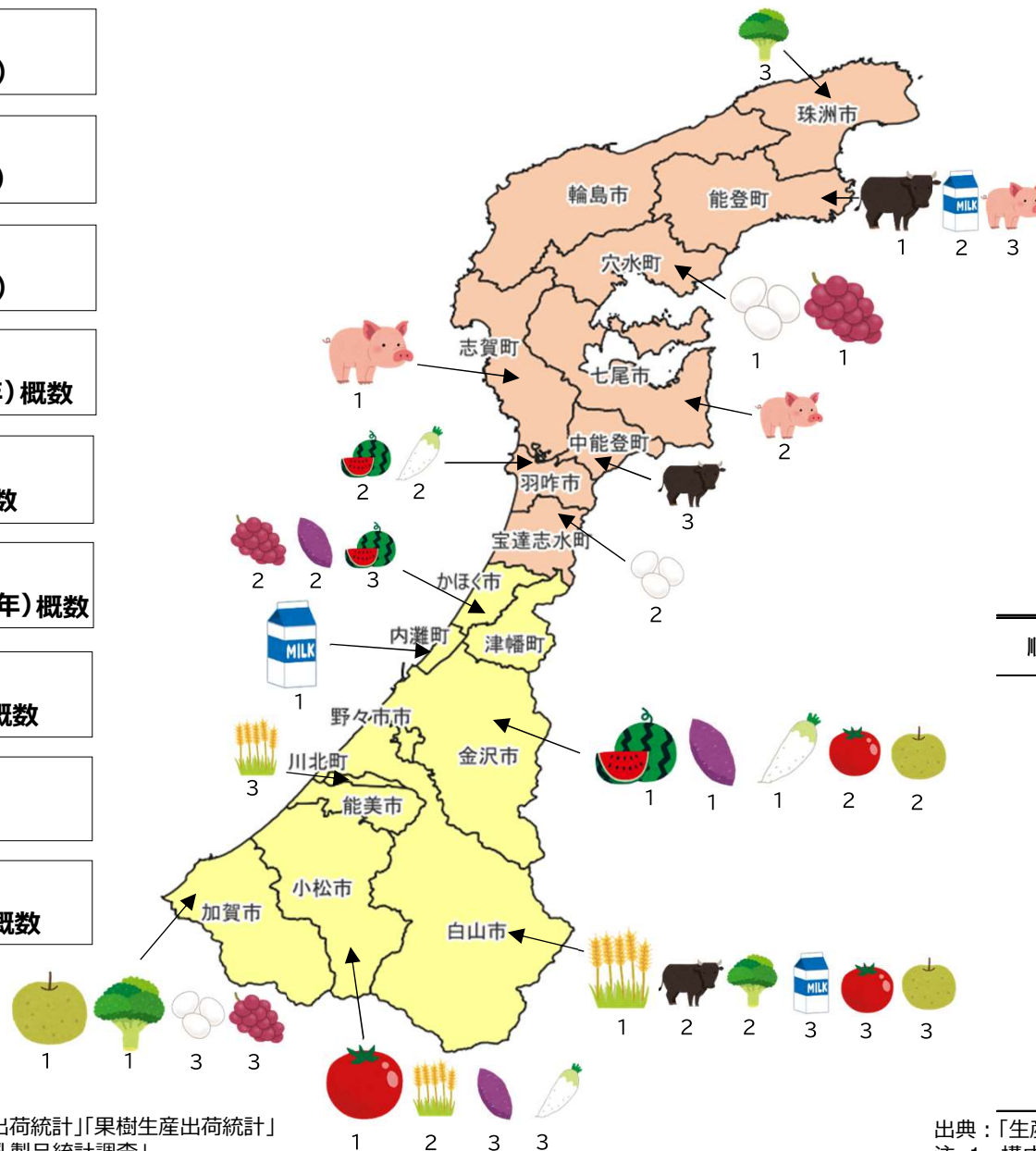
かんしょ
収穫量：3,760 t（令和5年）

日本なし
収穫量：2,400 t（令和7年）概数

六条大麦
収穫量：5,610 t（令和7年）

だいこん
収穫量：7,030 t（令和6年）

ブロッコリー
収穫量：1,570 t（令和6年）



全国の農業産出額に占める構成割合が高い上位10品目（令和6年）

順位	品目	構成割合 (%)	全国順位	産出額 (億円)
1	六条大麦	7.7	3	1
2	すいか	3.5	10	23
3	れんこん	2.5	8	5
4	干しがき	2.3	7	1
5	ブルーベリー	2.2	15	1
6	たけのこ	1.9	8	2
7	米	1.5	22	390
8	いちじく	1.5	18	1
9	こまつな	1.2	19	4
10	かぼちゃ	1.2	21	4

出典：農林水産省統計部「作物統計」「野菜生産出荷統計」「果樹生産出荷統計」「畜産統計調査」「畜産物流通調査」「牛乳乳製品統計調査」「市町村別農業産出額（推計）」

- 注：1 収穫量、飼養頭数及び生産量は県計値である。
2 主な産地は「令和6年市町村別農業産出額（推計）」結果に基づき、県内3位以内の市町とした。
3 図柄下の数値は県内順位を表わす。

- 出典：「生産農業所得統計」
注：1 構成割合は各品目の農業産出額の都道府県別合計に占める割合である。
2 構成割合が同じ品目の順位付けは、原数値（100万円）の構成割合により判定したものである。
3 都道府県別合計が5億円未満の品目は含まれていない。
4 全国順位は秘匿措置を講じた都道府県を除いた順位である。

石川県の地理的表示（GI）保護制度 登録産品

- ・**地理的表示（GI：Geographical Indication）** 保護制度は、その地域ならではの自然的、人文的、社会的な要因・環境の中で長年育まれてきた品質、社会的評価等の特性を有する産品の名称を、地域の知的財産として保護する制度である。外国との相互保護や模倣品対策の充実により、海外においても保護される。
- ・令和8年7月10日現在、全国で170産品（石川県内では4産品）が登録されている。



加賀丸いも（平成28年9月7日登録）



- ・**生産地**：能美市及び小松市（高堂町、野田町、一針町）
- ・**登録生産者団体**：南加賀地区丸いも生産協議会
- ・**特性**：ソフトボール大の丸い形を特徴として、高級食材として知られるやまといも。粘り成分が多く、水分が少ないため、すりおろすと強い粘りを呈する。山芋特有の風味があり、加工食品原材料として幅広く利用されている。

能登志賀ころ柿（平成28年10月12日登録）



- ・**生産地**：志賀町のうち昭和45年から平成17年までの旧志賀町区域
- ・**登録生産者団体**：志賀農業協同組合
- ・**特性**：原料に糖度が高い最勝（さいしょう）柿を使用し、甘さ、鮮やかな銑色の外観、緻密で柔らかい果肉が特徴の干柿。人手による柿もみ、ゆっくりとした干し上げなど伝統的な製法で作られている。

いしり・いしる（令和6年3月27日登録）



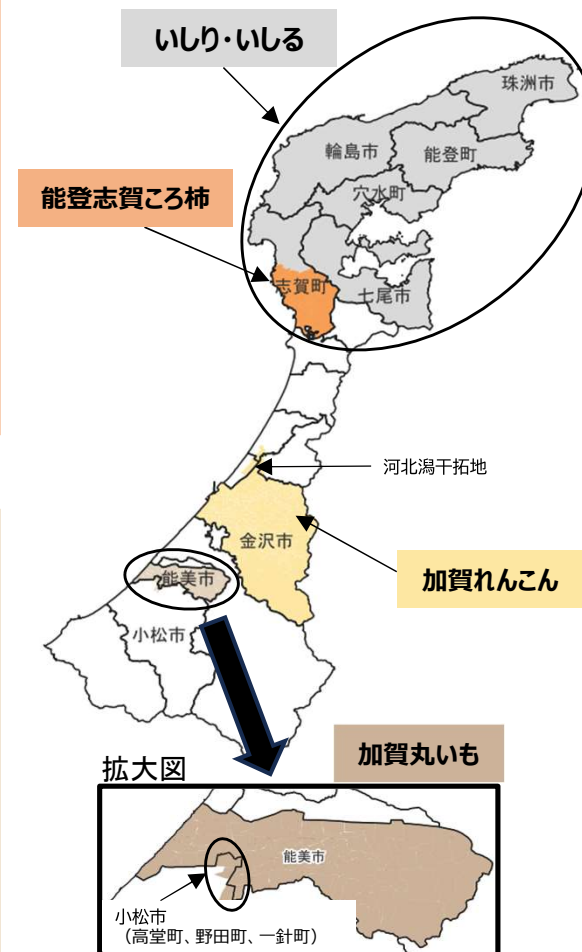
- ・**生産地**：輪島市、珠洲市、七尾市、能登町、穴水町及び志賀町
- ・**登録生産者団体**：能登いしり・いしる生産者協議会
- ・**特性**：原料がもつ天然の発酵力をいかして長期間発酵・熟成させる特色ある伝統的製法が、「いしり」の豊かな旨みと独特の風味を生み出しており、日本三大魚醤油の1つとして認知されている。「いしりの貝焼き」や「べん漬け」などの郷土料理等に欠かせない万能調味料として定着している。

加賀れんこん（令和8年7月10日登録）



- ・**生産地**：金沢市及び河北潟干拓地内
- ・**登録生産者団体**：JA金沢市加賀れんこん部会
- ・**特性**：肉厚でデンプン質が多く、すりおろすとつなぎ無しで団子状になるほど粘りがあり、秋から冬にかけて更に粘りが増すため、夏はシャキシャキした食感を、冬はもっちりとした食感を楽しむことができ、郷土料理の「はす蒸し」や「すり流し汁」などに必要不可欠な食材として定着している。食味の良さに加え、新鮮さの証とされる「さび（表皮の黒ずみ）」が多く、日もちが良いことや安定的な供給体制などが市場関係者から高く評価され、一般的なれんこんに比べ高値で取引されている。

登録地域



石川県の世界農業遺産（能登の里山里海（石川県能登地域））

- ・**世界農業遺産（GIAHS）**は、社会や環境に適応しながら何世代にもわたり継承されてきた独自性のある伝統的な農林水産業と、それに密接に関わって育まれた文化、ランドスケープ及びシースケープ、農業生物多様性などが相互に関連して一体となった、世界的に重要な農林水産業システムを認定する制度である。能登地域は、平成23年6月に「能登の里山里海」として認定されている。
- ・能登地域には、日本海に面した急傾斜地に広がる「白米千枚田」をはじめとした棚田や、海の強い潮風から家屋を守る間垣と呼ばれる竹の垣根など、日本の農山漁村の原風景ともいわれる独特の景観が見られる。また、伝統的な技術として、「揚げ浜式」と呼ばれる日本で唯一能登にのみ残る製塩法や、女性が素潜りでサザエやアワビを採る「海女漁」、里山の保全・管理と密接に結びついた「炭焼き」などが受け継がれている。このほか、豊作豊漁を願い、巨大な灯籠を担いで練り歩く「キリコ祭り」や、田の神を祀る農耕神事「あえのこと」など、農林水産業にまつわる祭礼が能登の各地で行われている。



日本海に面した急傾斜地に広がる「白米千枚田」



写真左：日本海の強い潮風から家屋を守る「間垣」（まがき）と呼ばれる竹の垣根

写真右：日本で能登に唯一残る「揚げ浜式」製塩法



田の神様をもてなす農耕神事「あえのこと」



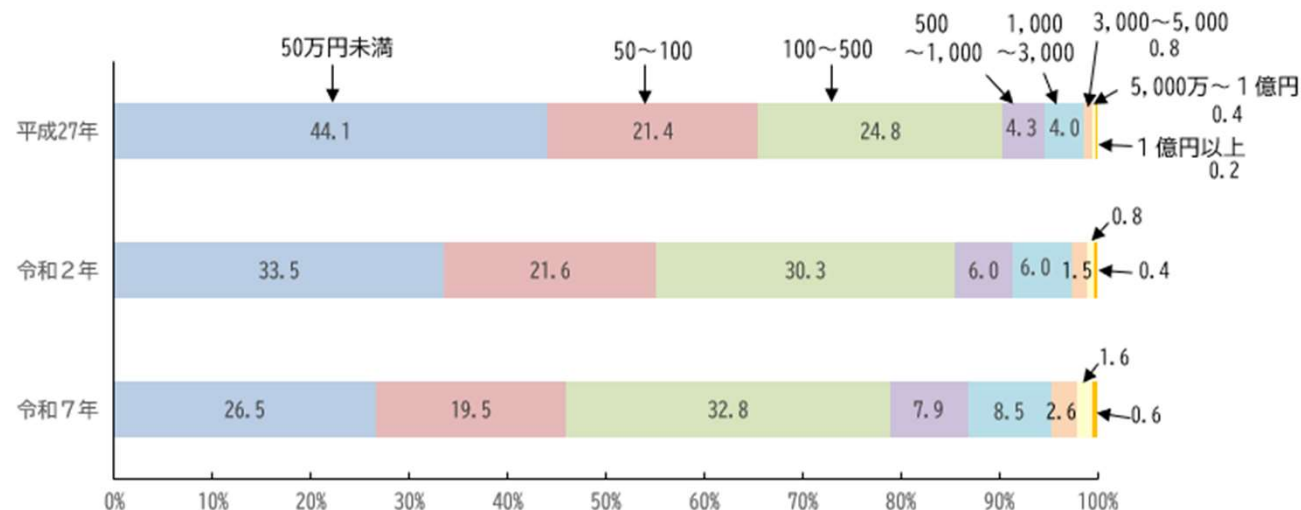
「能登の里山里海」
情報ポータルサイト

(参考資料)

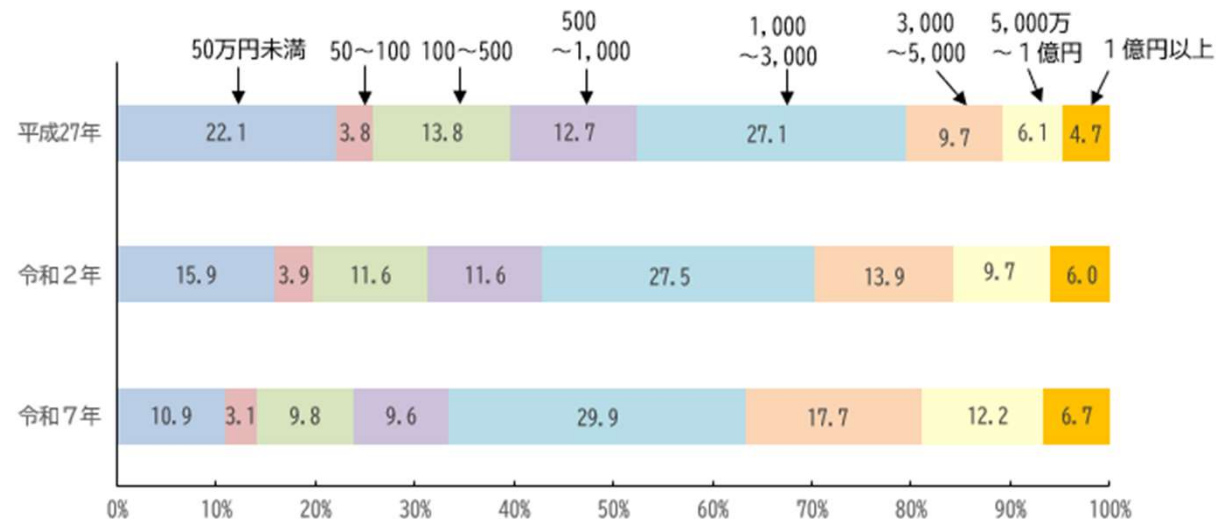
農産物販売金額規模別経営体数(農林業センサス)

令和7年の農産物販売金額規模別にみると、5年前に比べて農業経営体では100万円以上、団体経営体では1,000万円以上の各階層で経営体数が増加している。

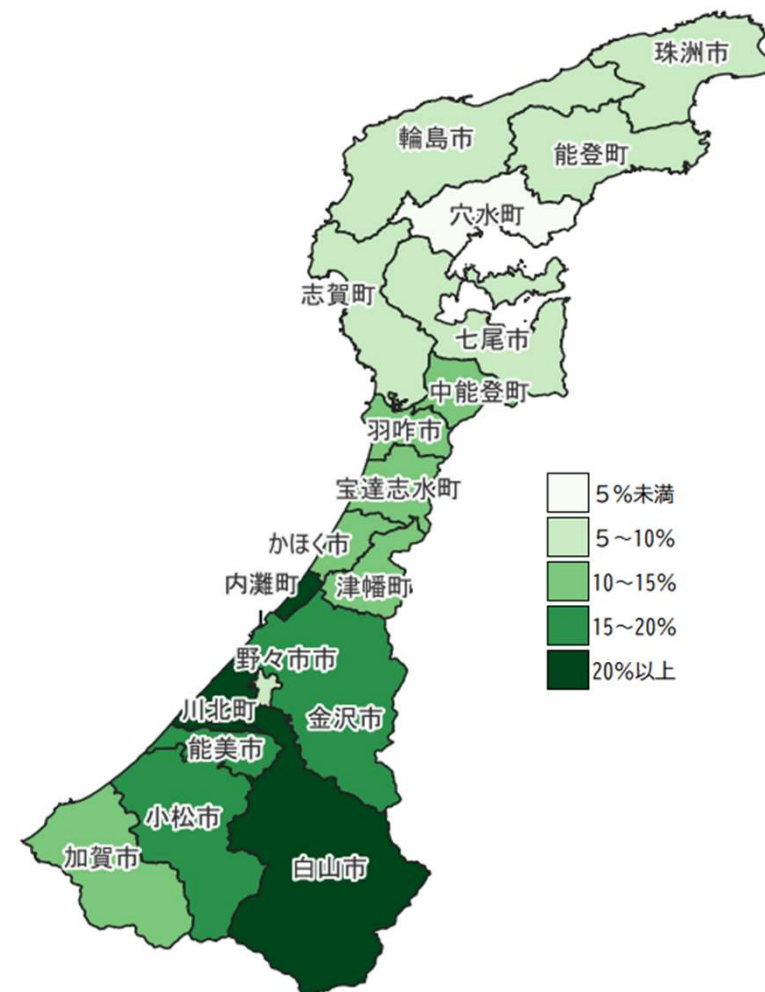
農産物販売金額規模別経営体数割合(農業経営体)



農産物販売金額規模別経営体数割合(団体経営体)



市町別 農産物販売金額1,000万円以上の農業経営体数割合(2025年)



出典：農林水産省統計部「農林業センサス」

注：1 表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

注：2 「50万円未満」には販売なしを含む。

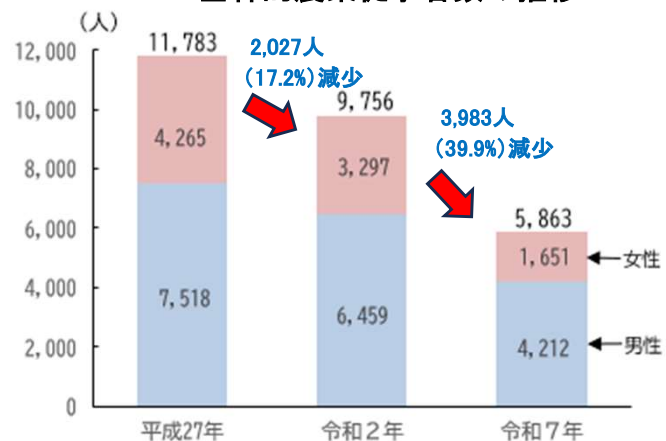
農業労働力(農林業センサス)

農業経営体のうち個人経営体の基幹的農業従事者(自営農業を主な仕事としている世帯員)は5,863人で、5年前に比べて3,983人(39.9%)減少した。

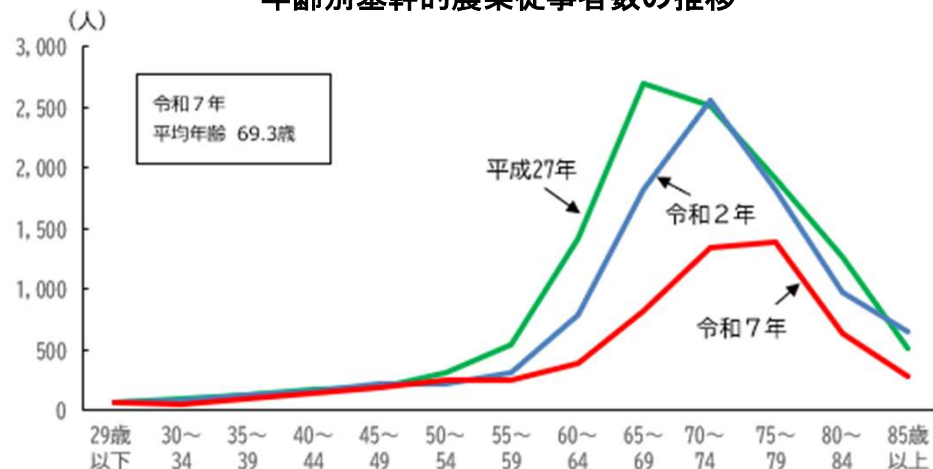
団体経営体の役員・構成員は1,050人で、5年前に比べて115人(12.3%)増加し、雇用労働は3,202人で、5年前に比べて435人(12.0%)減少した。

個人経営体

基幹的農業従事者数の推移

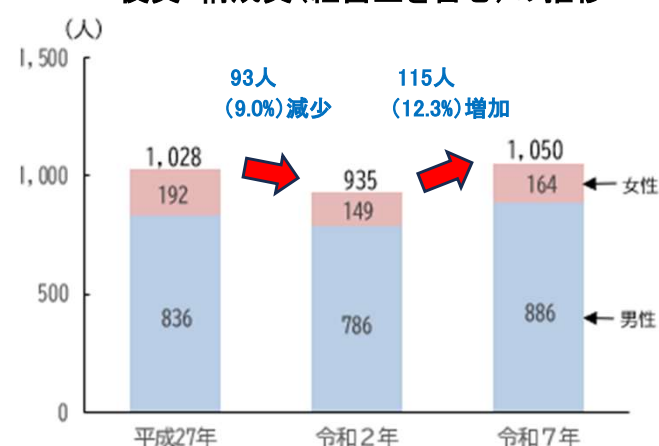


年齢別基幹的農業従事者数の推移

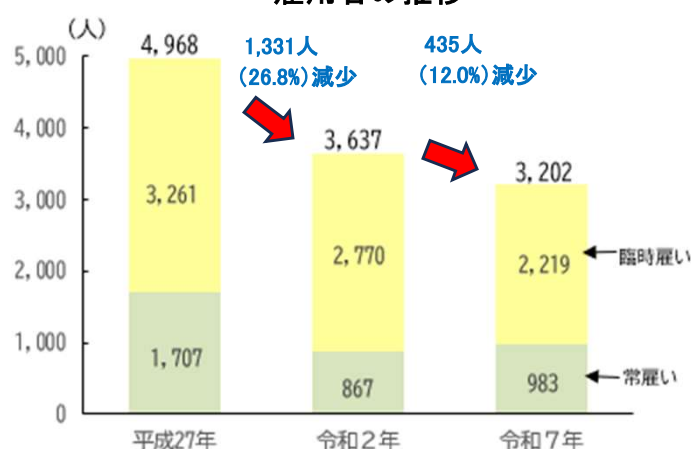


団体経営体

役員・構成員(経営主を含む)の推移



雇用者の推移



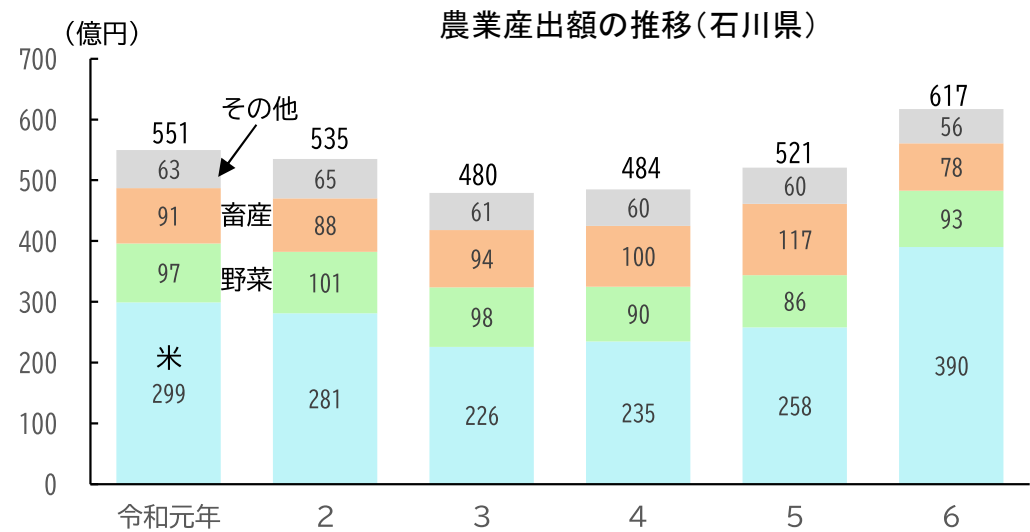
注1：役員・構成員の値は、農業に150日以上従事した人数(経営主を含む。)である。

注2：常雇いとは、農業に年間7か月以上の契約で雇った人をいう。

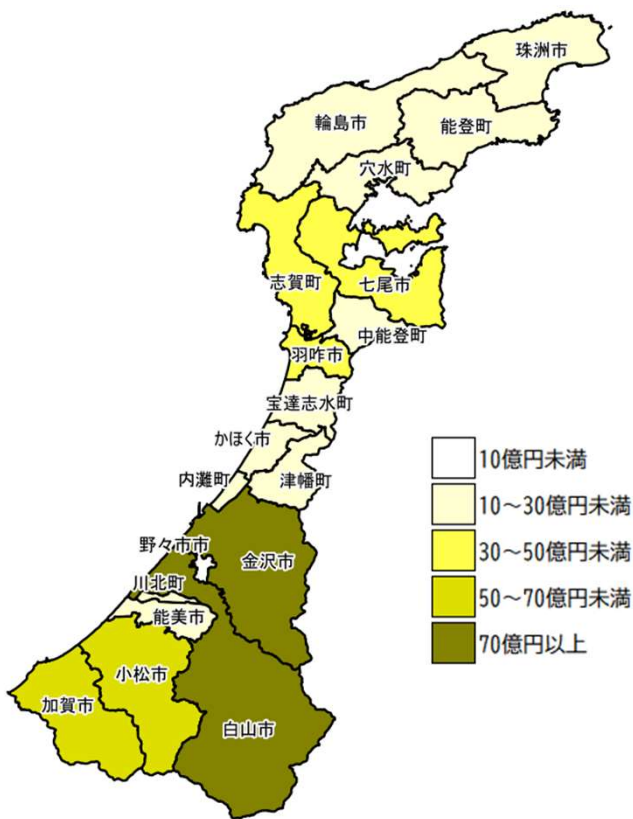
注3：臨時雇いとは、「常雇い」に該当しない日雇い・季節雇いなど、農作業のために一時的雇った人のことをいい、手間替え・ゆい(労働交換)、手伝い(金品の授受を伴わない無償の受け入れ労働)を含む。

農業産出額

令和6年の農業産出額は米の価格が上昇したこと等から、前年に比べて96億円（18.4%）増加し、617億円となった。



市町別農業産出額(令和6年)



市町別農業産出額(令和6年)

加賀地域								
市町	農業産出額		主要部門の産出額					
			1位		2位		3位	
	億円	県内順位	部門	産出額(億円)	部門	産出額(億円)	部門	産出額(億円)
かほく市	17.8	14	米	10.9	果実	3.3	野菜	2.1
内灘町	11.6	15	乳用牛	8.0	野菜	2.3	肉用牛	0.9
津幡町	20.9	13	米	17.7	乳用牛	1.7	野菜	1.2
金沢市	86.0	1	野菜	34.1	米	32.8	いも類	8.2
野々市市	3.5	19	米	2.9	野菜	0.4	いも類	0.1
白山市	75.2	2	米	56.7	野菜	11.1	乳用牛	2.7
能美市	25.9	11	米	22.9	野菜	2.6	麦類	X
川北町	10.8	17	米	9.9	野菜	0.6	麦類	X
小松市	63.9	3	米	53.9	野菜	7.8	果実	0.9
加賀市	63.3	4	米	43.4	野菜	10.1	果実	7.4

能登地域								
市町	農業産出額		主要部門の産出額					
			1位		2位		3位	
	億円	県内順位	部門	産出額(億円)	部門	産出額(億円)	部門	産出額(億円)
珠洲市	11.5	16	米	5.8	乳用牛	2.0	野菜	1.7
能登町	27.9	9	肉用牛	12.0	米	7.5	乳用牛	2.9
輪島市	10.8	18	米	8.5	果実	1.0	野菜	0.8
穴水町	29.0	8	鶏	19.2	果実	4.6	米	3.0
七尾市	39.7	5	米	28.8	野菜	4.8	豚	X
中能登町	22.7	12	米	17.3	豚	X	肉用牛	1.2
志賀町	35.6	6	米	24.3	豚	4.1	野菜	2.8
羽咋市	33.2	7	米	27.3	野菜	5.0	果実	0.4
宝達志水町	26.9	10	米	16.1	鶏	5.5	果実	1.8

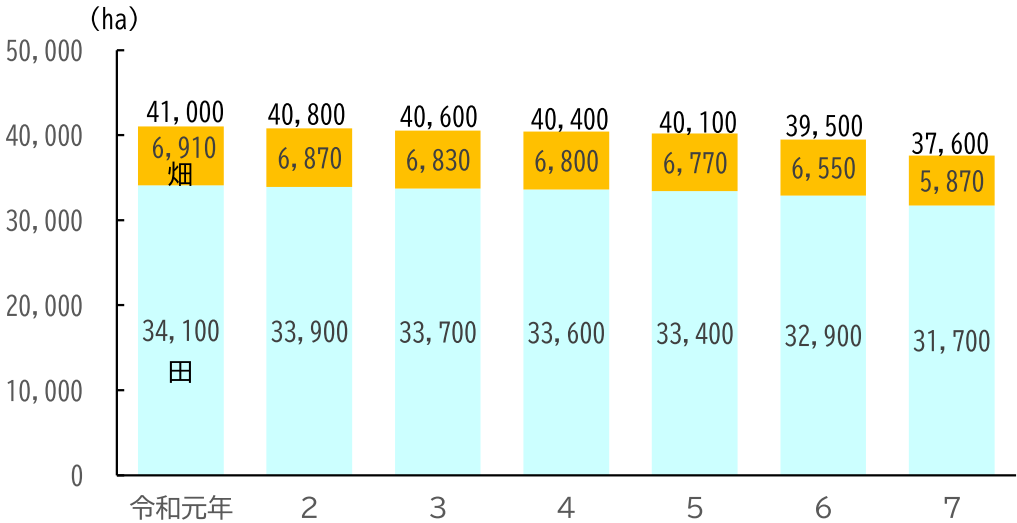
注：1 「市町村別農業産出額（推計）」は都道府県別の農業産出額を農林業センサスの作付面積や飼養頭羽数等を用いて市町村別に按分した加工統計であるため、市町村毎の価格や単収の差は反映されていないことに留意されたい。
2 表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。
3 赤字は県内3位以内の市町を表わす。

出典：農林水産省統計部「生産農業所得統計」「市町村別農業産出額（推計）」

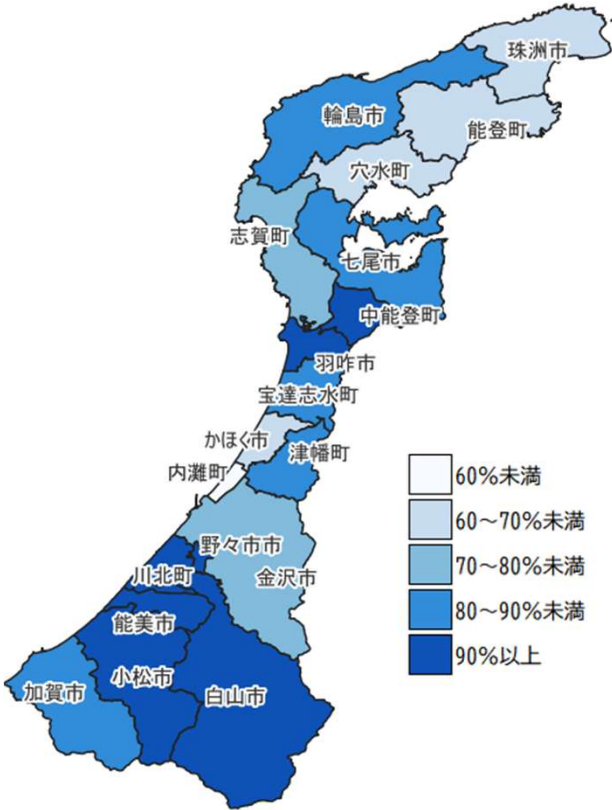
耕地面積

令和7年の耕地面積（田畑計）は3万7,600haで、前年に比べて1,900ha（4.8%）減少した。
また、水田率は8割以上となっている。

耕地面積の推移(石川県)



市町別水田率(令和7年)



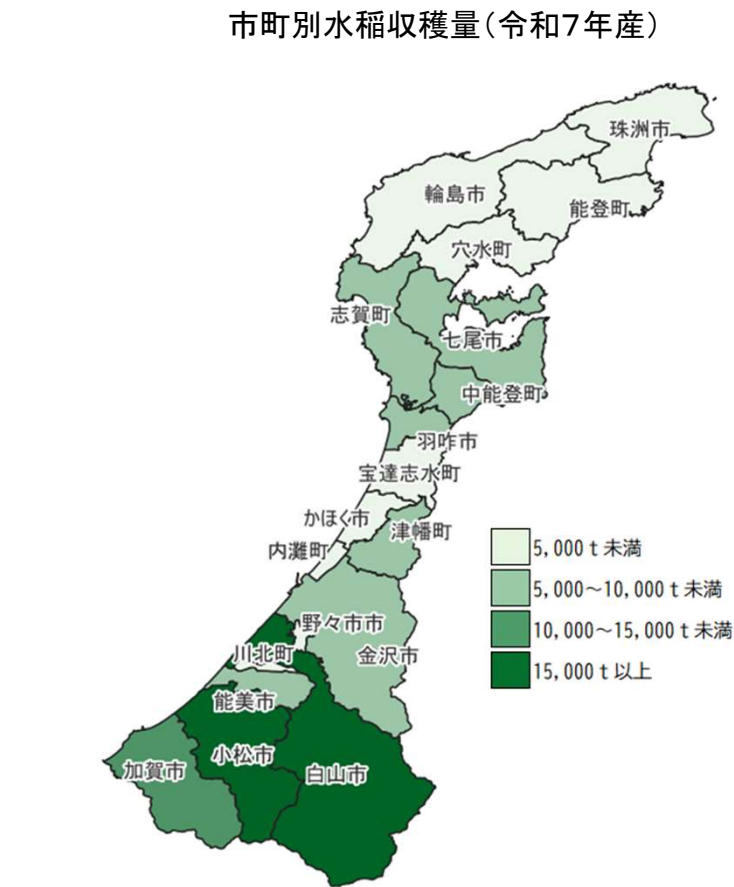
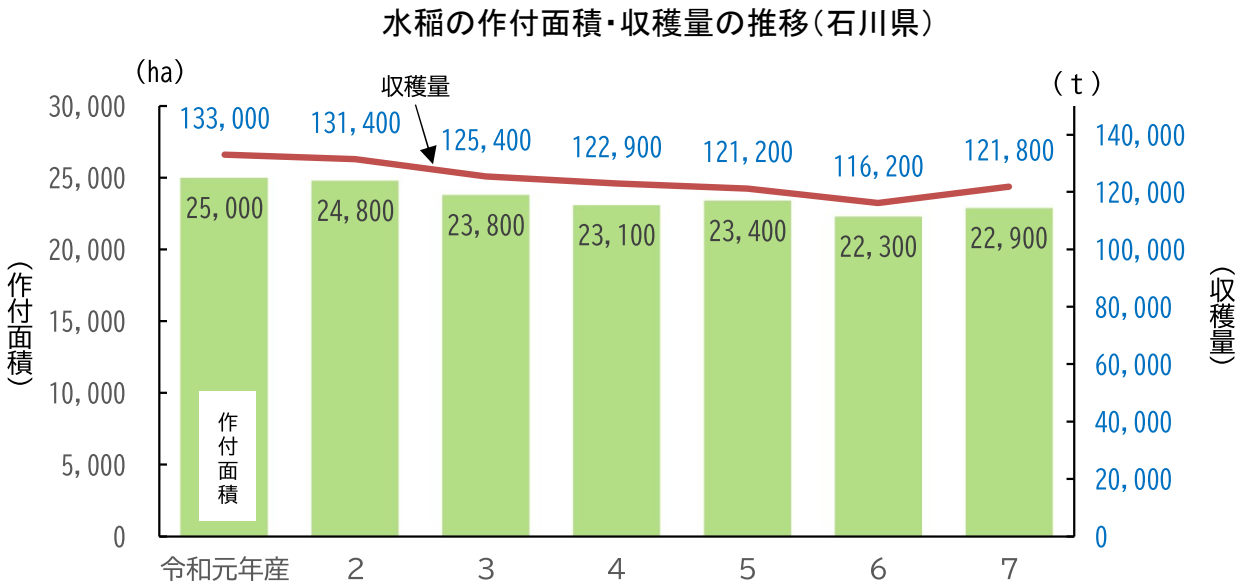
市町別田畑別耕地面積(令和7年)

加賀地域						能登地域					
市町	田畑計		田		畑		市町	田畑計		田	
	(ha)	県内順位	(ha)	県内順位	(ha)	県内順位		(ha)	県内順位	(ha)	県内順位
かほく市	1,170	15	748	15	423	6	珠洲市	1,460	13	950	14
内灘町	562	18	117	19	445	5	能登町	1,570	12	999	13
津幡町	1,710	9	1,420	11	290	10	輪島市	1,700	10	1,430	10
金沢市	3,190	4	2,500	5	684	1	穴水町	834	16	572	17
野々市市	224	19	202	18	22	18	七尾市	3,120	5	2,790	4
白山市	4,530	1	4,300	1	226	13	中能登町	1,620	11	1,510	9
能美市	1,740	8	1,640	8	105	17	志賀町	2,670	6	2,120	6
川北町	734	17	717	16	17	19	羽咋市	2,190	7	2,020	7
小松市	3,770	2	3,430	2	337	8	宝達志水町	1,390	14	1,210	12
加賀市	3,410	3	3,050	3	358	7					

出典：農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」「農林水産関係市町村別統計」
注：1 この市町村別統計は、「作物統計調査」を実施する上で把握した地域における標本調査結果及び現地見積りの結果、関係機関からの情報等を踏まえ、都道府県計値の内訳として市町村別に配分することにより作成した加工統計であり、市町村別の値を目的として設計された調査に基づいて直接得られたものではない。なお、「作物統計調査」は、都道府県計値を求めるために目標精度を設定し、調査の設計がされている。
2 面積は、耕地の存在する市町村に計上しており（属地統計）、耕作者の市町村間の出作・入作を考慮していない。
3 赤字は各項目の県内3位以内の市町を表わす。

水稻の作付面積・収穫量

令和7年産の水稻作付面積（子実用）は22,900ha、で前年産に比べて600ha（2.7%）増加し、
 収穫量（子実用）は121,800 t で、前年産に比べて、5,600 t （4.8%）増加した。



市町別水稻作付面積・10a当たり収量・水稻収穫量(令和7年産)

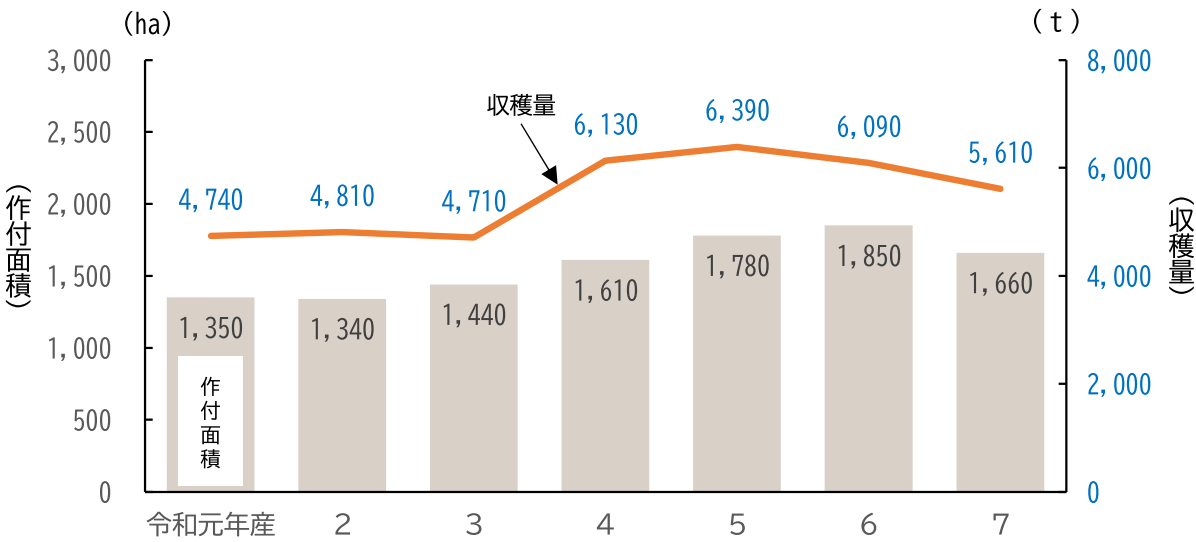
加賀地域						能登地域					
市町	作付面積 (子実用) (ha)	県内 順位	10a当たり 収量 (kg)	県内 順位	収穫量 (子実用) (t)	県内 順位	市町	作付面積 (子実用) (ha)	県内 順位	10a当たり 収量 (kg)	県内 順位
かほく市	633	12	530	9	3,360	12	珠洲市	503	16	475	16
内灘町	91	19	500	14	455	19	能登町	597	13	462	19
津幡町	1,020	10	537	8	5,490	10	輪島市	563	14	470	17
金沢市	1,750	5	543	7	9,510	4	穴水町	193	17	463	18
野々市市	147	18	570	3	838	18	七尾市	1,890	4	492	15
白山市	3,100	1	572	2	17,700	1	中能登町	1,150	9	503	13
能美市	1,260	8	554	4	6,980	8	志賀町	1,530	7	510	11
川北町	550	15	574	1	3,160	13	羽咋市	1,650	6	513	10
小松市	2,960	2	550	5	16,300	2	宝達志水町	972	11	510	12
加賀市	2,390	3	549	6	13,100	3					

出典：農林水産省統計部「作物統計」「農林水産関係市町村別統計」
 注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から青刈り面積（飼料用米・WCS用稲等を含む。）を除いた面積である。
 2 10 a 当たり収量及び収穫量（子実用）は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
 3 赤字は各項目の県内3位以内の市町を表わす。

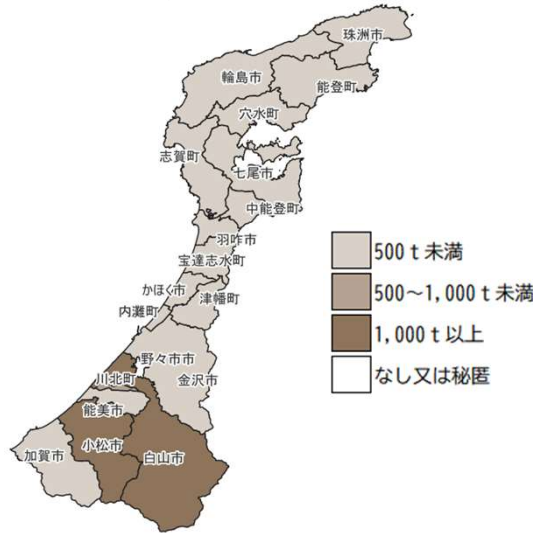
六条大麦の作付面積・収穫量

令和7年産の六条大麦の作付面積は1,660haで、前年産に比べて190ha（10.3%）減少し、収穫量は5,610 tで、前年産に比べて480 t（7.9%）減少した。

六条大麦の作付面積・収穫量の推移(石川県)



市町別六条大麦収穫量(令和7年産)



市町別六条大麦の作付面積・10a当たり収量・収穫量(令和7年産)

加賀地域						能登地域					
市町	作付面積 (ha)	県内 順位	10a当たり 収量 (kg)	県内 順位	収穫量 (t)	県内 順位	市町	作付面積 (ha)	県内 順位	10a当たり 収量 (kg)	県内 順位
かほく市	36	12	222	10	80	11	珠洲市	0	17	60	15
内灘町	37	10	135	12	50	12	能登町	12	16	60	15
津幡町	96	7	143	11	137	9	輪島市	37	10	46	18
金沢市	17	15	88	14	15	15	穴水町	0	17	60	15
野々市市	-	-	-	-	-	-	七尾市	19	14	121	13
白山市	414	1	483	1	2,000	1	中能登町	67	9	224	9
能美市	143	3	345	5	493	4	志賀町	85	8	227	8
川北町	141	4	386	3	544	3	羽咋市	102	6	355	4
小松市	315	2	340	6	1,070	2	宝達志水町	23	13	396	2
加賀市	117	5	325	7	380	5					

六条大麦の作付面積・収穫量の上位5県の割合

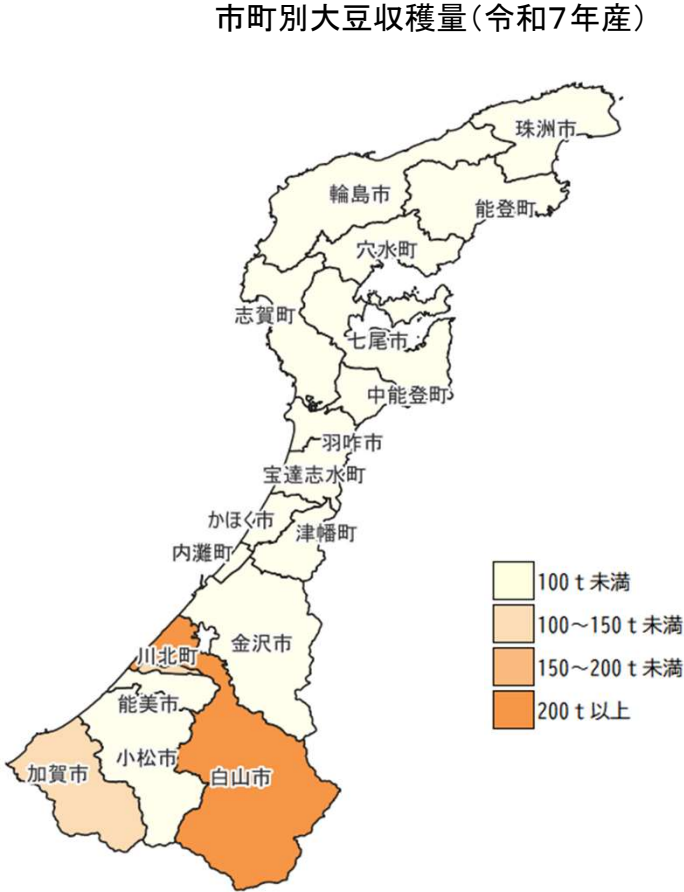
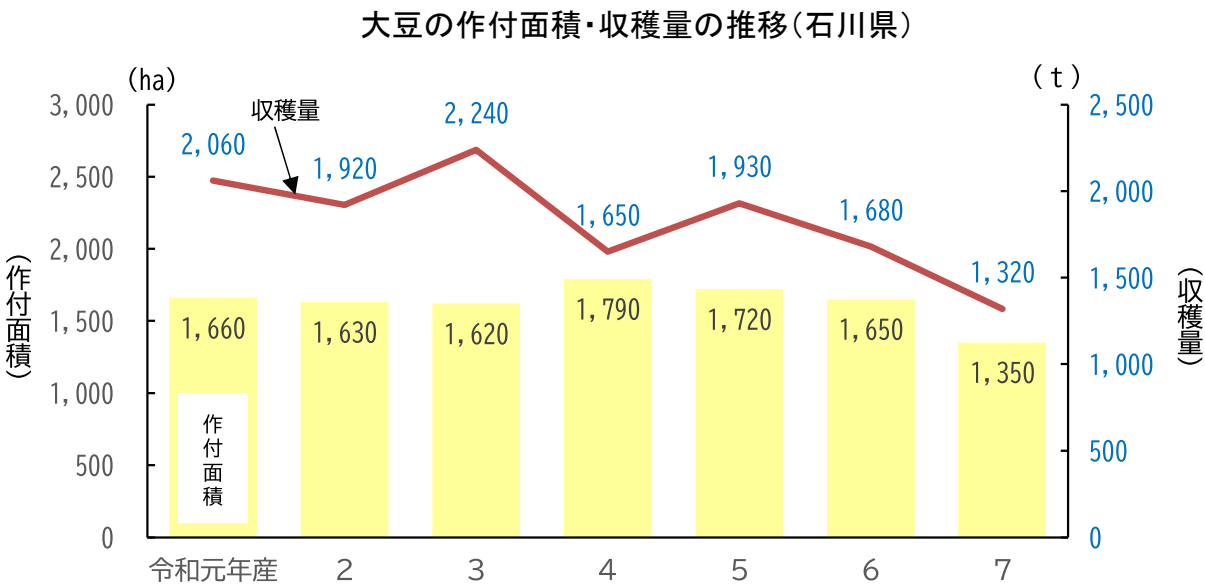
作付面積は全国3位、収穫量は4位



出典：農林水産省統計部「作物統計」「農林水産関係市町村別統計」
注：1 この市町村別統計は、「作物統計調査」を実施する上で把握した地域における集出荷団体、生産者等への郵送調査結果及び行政機関等からの情報を踏まえ、都道府県計値の内訳として市町村別に配分することにより作成した加工統計であり、市町村別の値を目的として設計された調査に基づいて直接得られたものではない。なお、「作物統計調査」は、都道府県計値を求めるために目標精度を設定し、調査の設計がされている。
2 順位は秘匿措置を講じている市町を除いたものである。
3 赤字は各項目の県内3位以内の市町を表わす。

大豆の作付面積・収穫量

令和7年産大豆の作付面積は1,350haで、前年産に比べて300ha（18.2%）減少し、収穫量は1,320 tで、前年産に比べて360 t（21.4%）減少した。



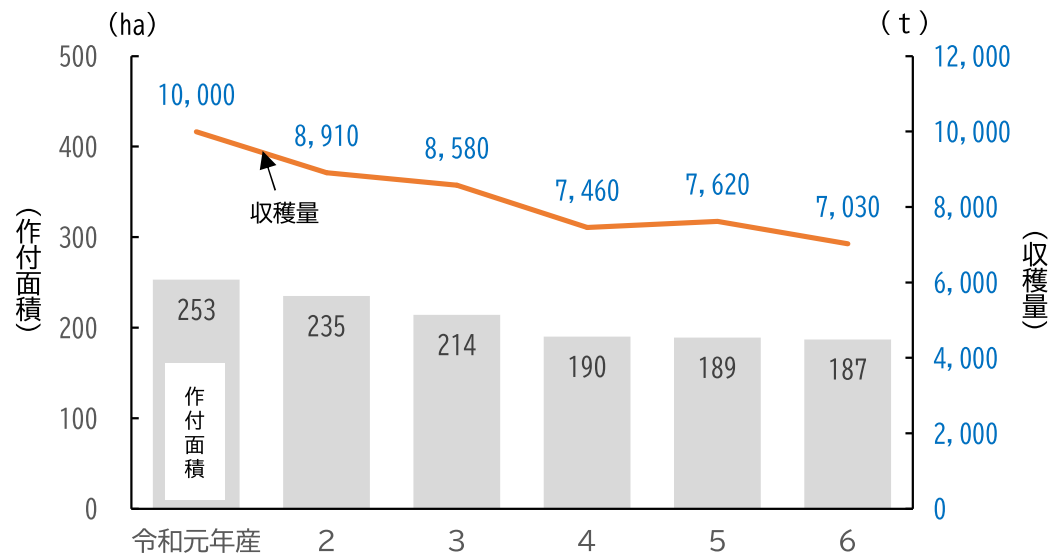
市町別大豆の作付面積・10a当たり収量・収穫量(令和7年産)

加賀地域						能登地域					
市 町	作付面積		10 a 当たり		収穫量		市 町	作付面積		10 a 当たり	
	(ha)	県内順位	収量(kg)	県内順位	(t)	県内順位		(ha)	県内順位	収量(kg)	県内順位
かほく市	47	7	54	10	25	8	珠洲市	30	10	59	6
内灘町	72	6	57	8	41	6	能登町	16	13	47	13
津幡町	94	5	52	12	49	5	輪島市	26	11	12	18
金沢市	16	13	54	10	9	10	穴水町	4	17	39	14
野々市市	1	19	10	19	0	19	七尾市	10	15	22	16
白山市	579	1	137	1	791	1	中能登町	38	9	13	17
能美市	41	8	85	4	35	7	志賀町	5	16	64	5
川北町	104	4	112	3	116	3	羽咋市	21	12	23	15
小松市	128	2	55	9	70	4	宝達志水町	4	17	59	6
加賀市	116	3	120	2	139	2					

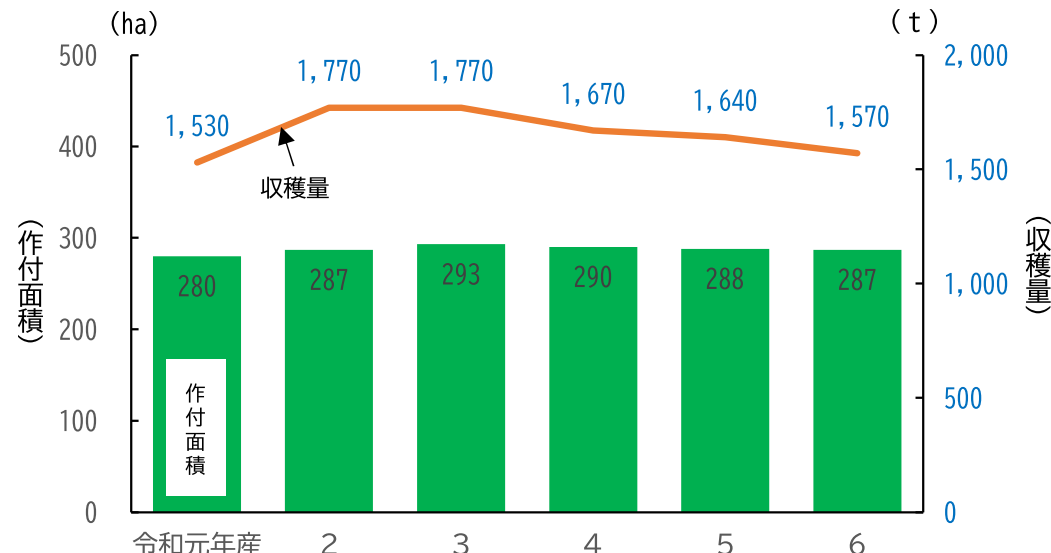
出典：農林水産省統計部「作物統計」「農林水産関係市町村別統計」
注：1 この市町村別統計は、「作物統計調査」を実施する上で把握した地域における集出荷団体、生産者等への郵送調査結果及び行政機関等からの情報を踏まえ、都道府県計値の内訳として市町村別に配分することにより作成した加工統計であり、市町村別の値を目的として設計された調査に基づいて直接得られたものではない。なお、「作物統計調査」は、都道府県計値を求めるために目標精度を設定し、調査の設計がされている。
2 赤字は各項目の県内3位以内の市町を表わす。

野菜の作付面積・収穫量（だいこん・ブロッコリー・ねぎ・かぼちゃ）

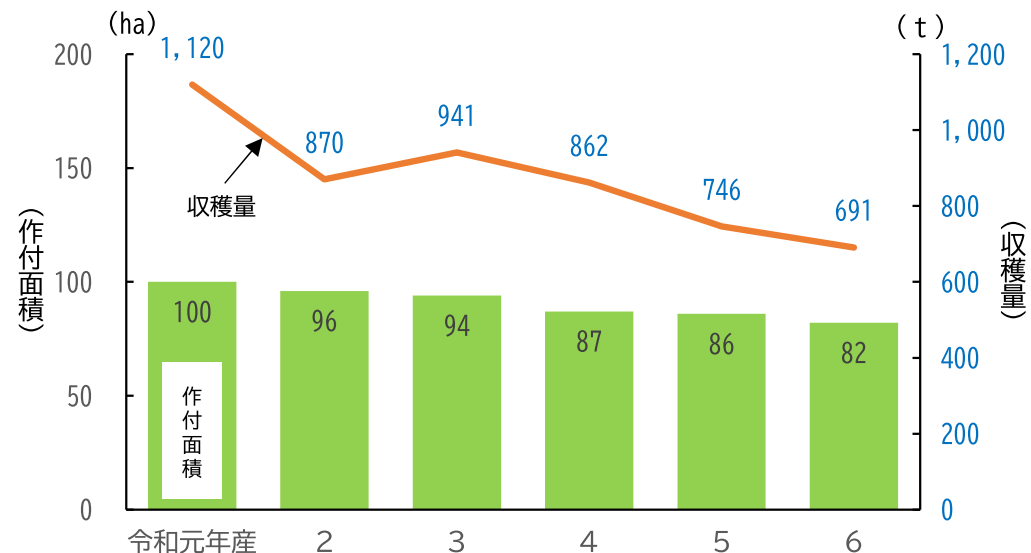
だいこんの作付面積・収穫量の推移



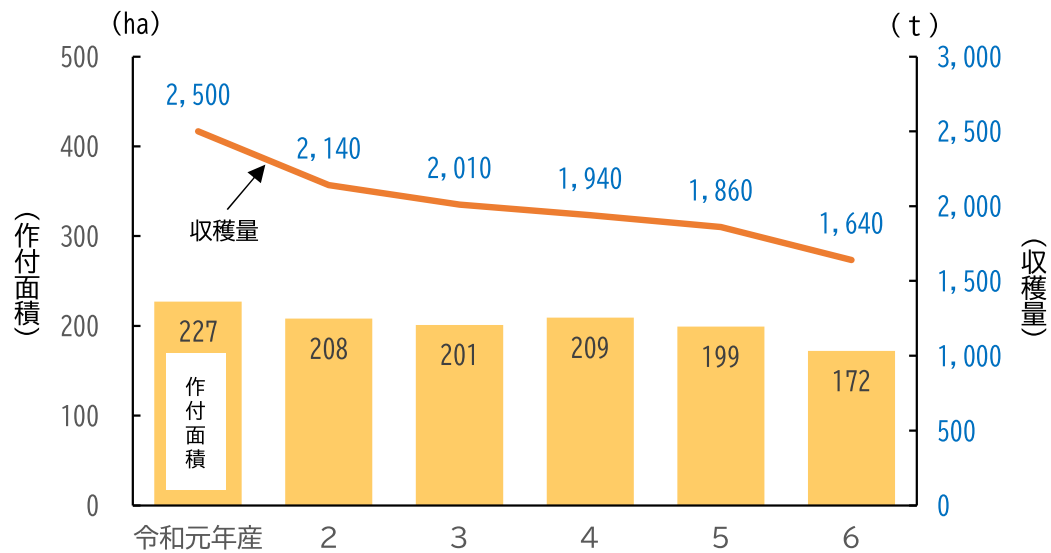
ブロッコリーの作付面積・収穫量の推移



ねぎの作付面積・収穫量の推移

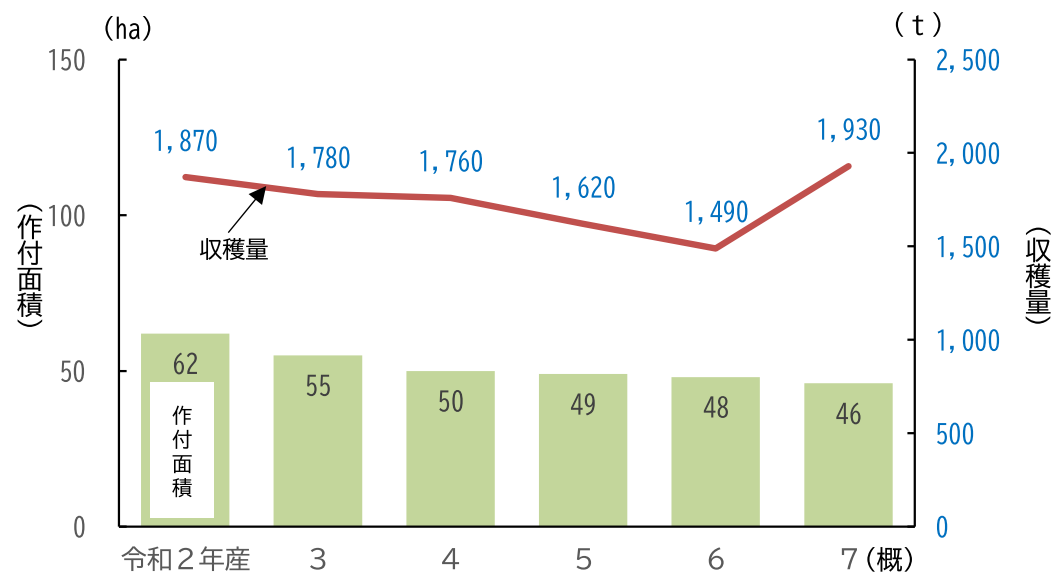


かぼちゃの作付面積・収穫量の推移

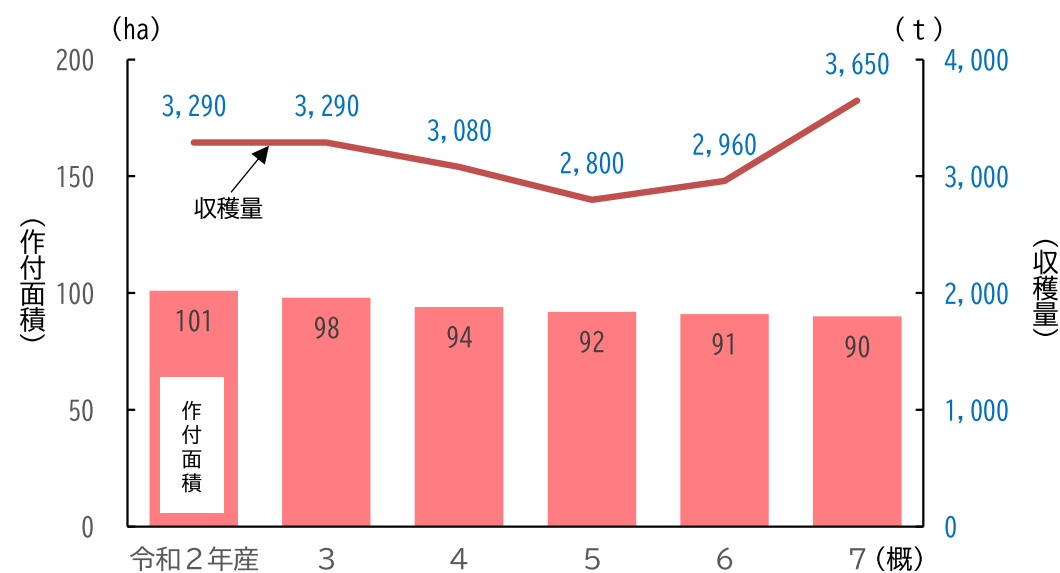


野菜の作付面積・収穫量（きゅうり・トマト・すいか・メロン）

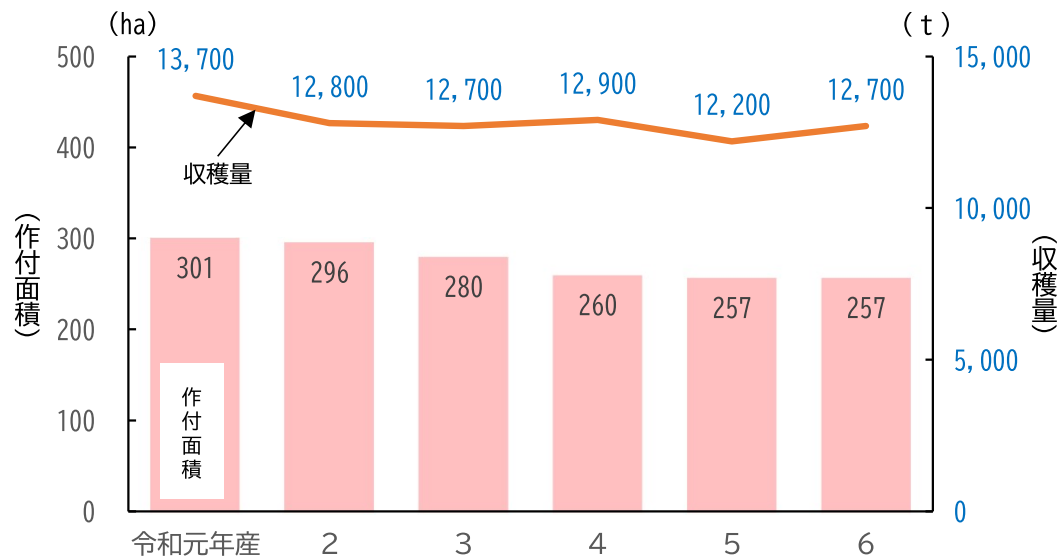
きゅうりの作付面積・収穫量の推移



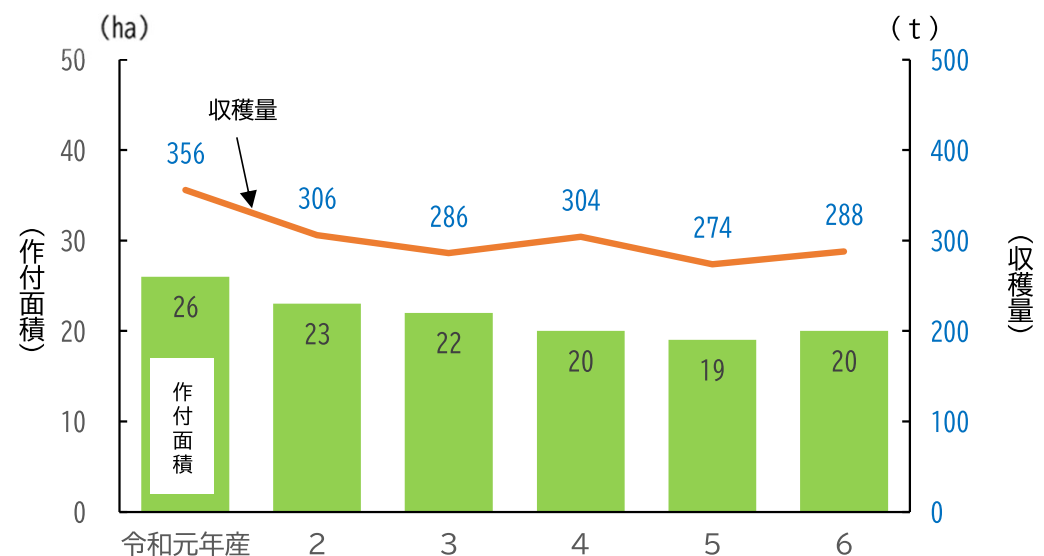
トマトの作付面積・収穫量の推移



すいかの作付面積・収穫量の推移

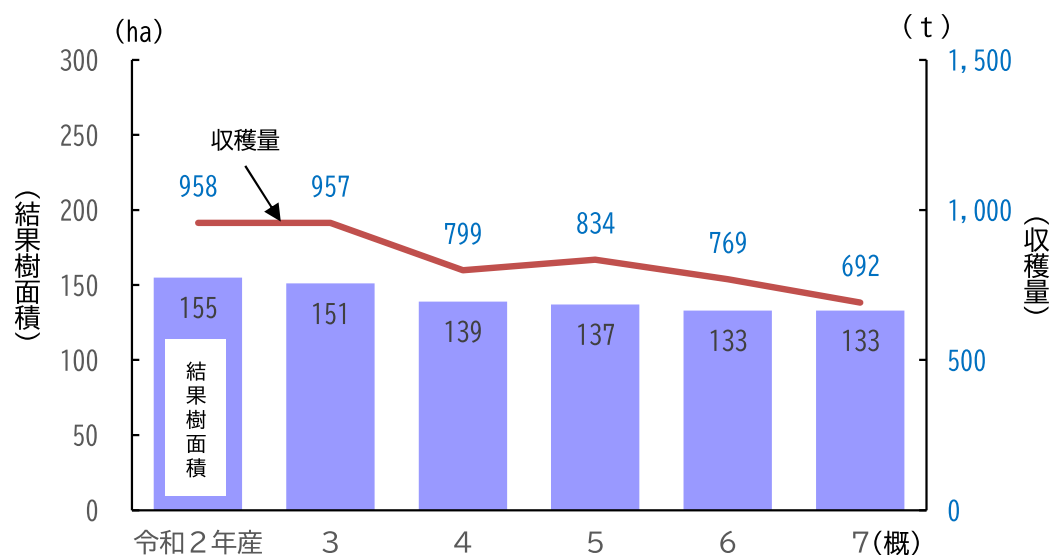


メロンの作付面積・収穫量の推移

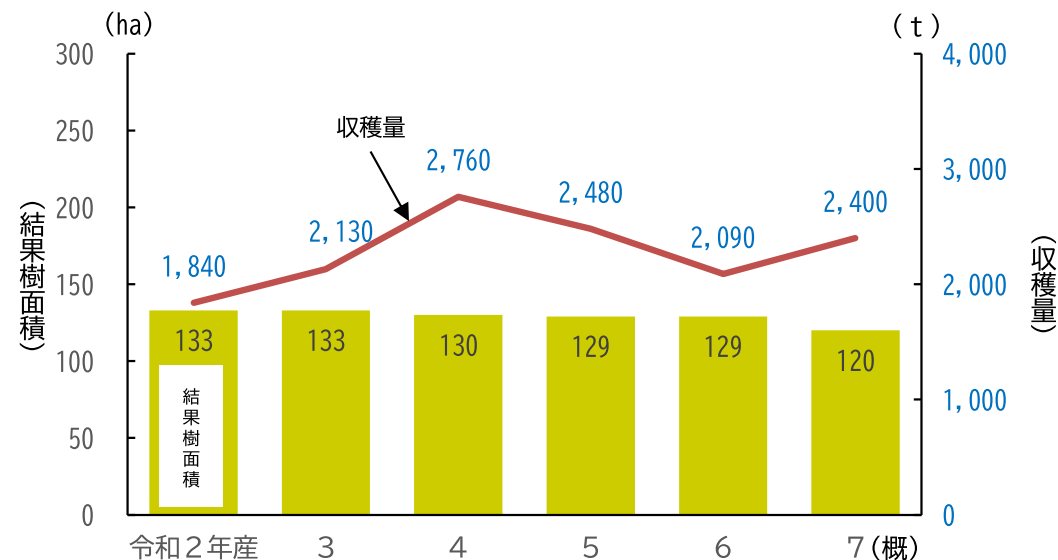


果樹の結果樹面積・収穫量（ぶどう・日本なし・かき・くり）

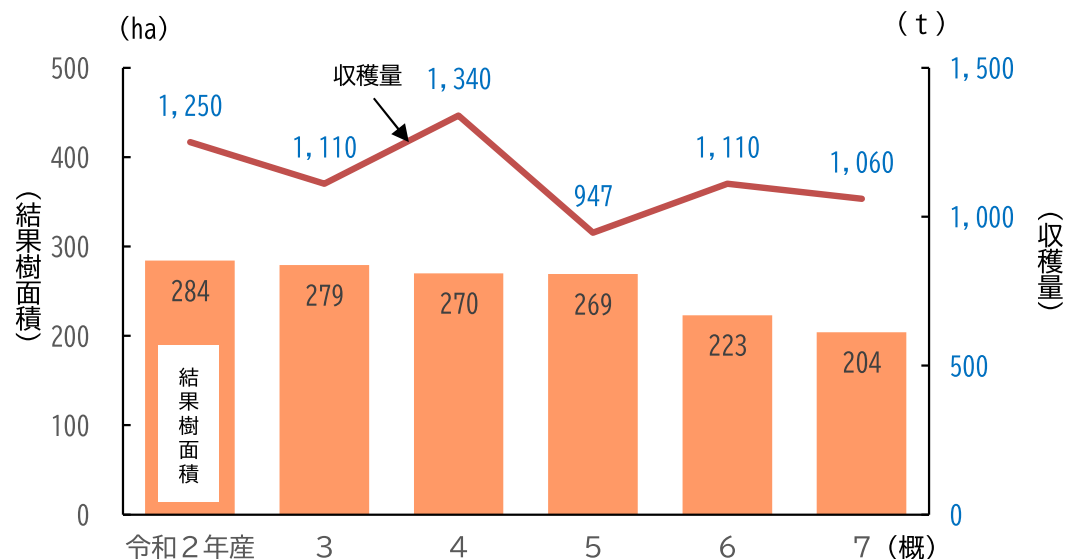
ぶどうの結果樹面積・収穫量の推移



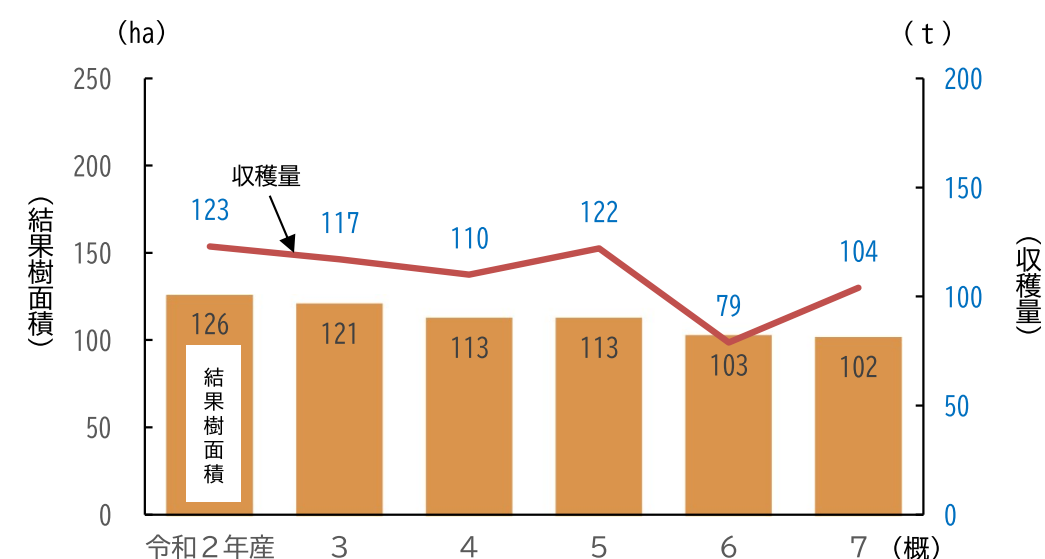
日本なしの結果樹面積・収穫量の推移



かきの結果樹面積・収穫量の推移

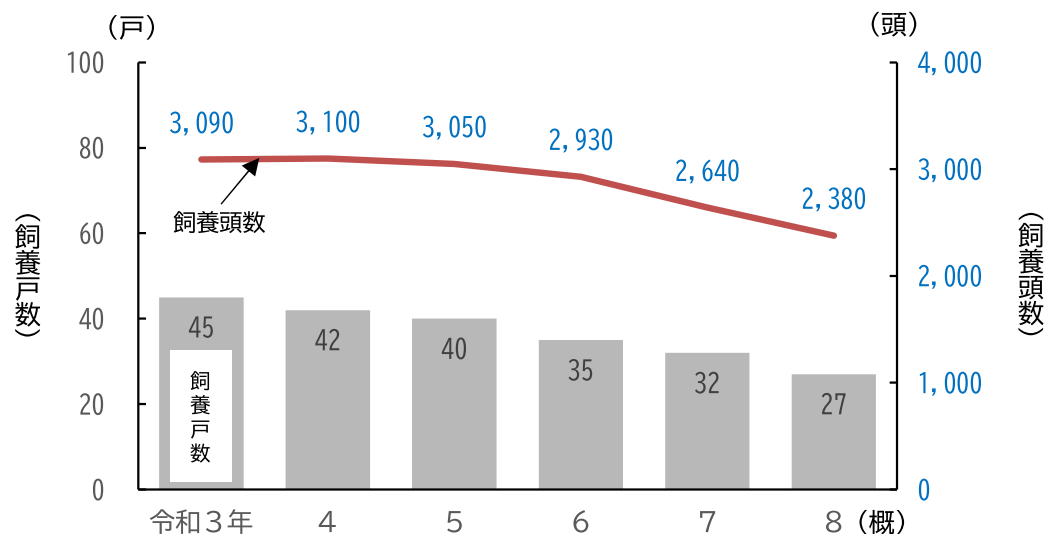


くりの結果樹面積・収穫量の推移

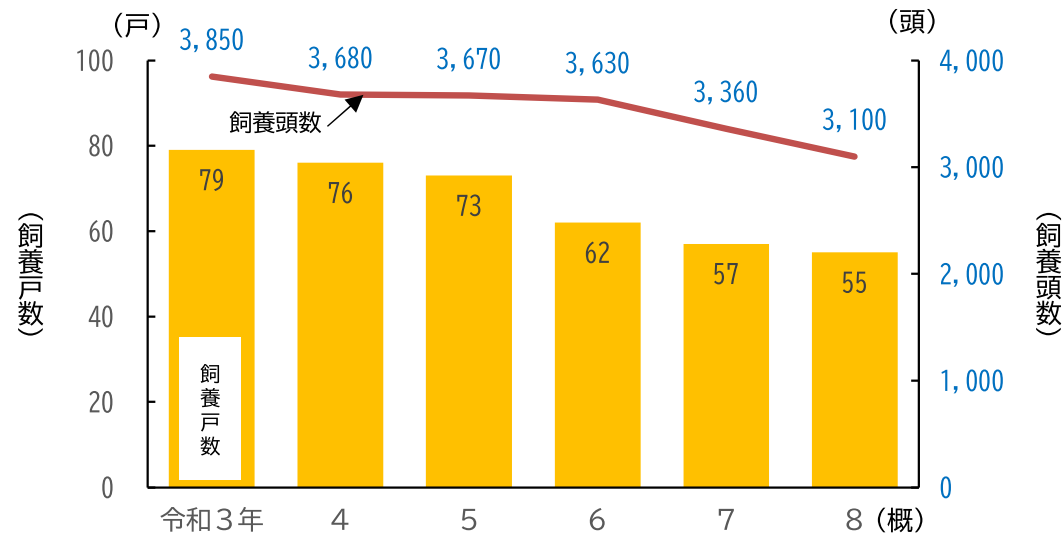


畜産の飼養戸数・飼養頭羽数（乳用牛・肉用牛・豚・採卵鶏）

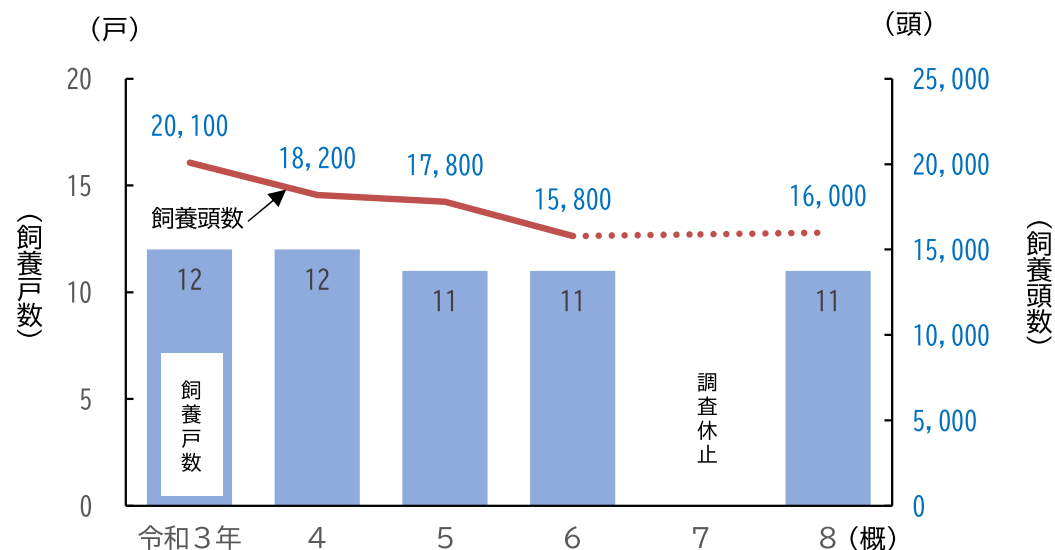
乳用牛の飼養戸数及び飼養頭数の推移



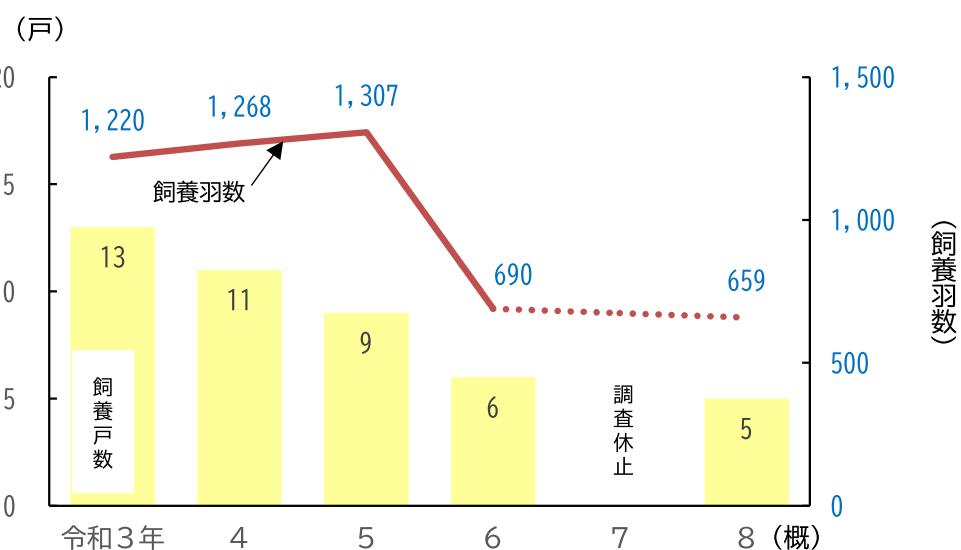
肉用牛の飼養戸数及び飼養頭数の推移



豚の飼養戸数及び飼養頭数の推移



採卵鶏の飼養戸数及び飼養羽数の推移



出典：農林水産省統計部「畜産統計」

注：1 調査は各年の2月1日現在である。

2 乳用牛、肉用牛は、牛個体識別全国データベース等の行政記録情報や関係統計により集計した加工統計である。

3 令和7年の豚、採卵鶏は農林業センサス実施年のため調査を休止した。